

# 銀友

No.51

南 郷 学 園  
本郷学園は二〇二二年に  
学園創立百周年を迎えます

HONGO  
100 YEARS  
since 1922  
and THE FUTURE

写真：本郷学園提供

本郷学園同窓会 2022.05

総会のお知らせ

2022年度の定期総会は昨年に続き  
新型コロナウイルス感染症予防のため中止します

[http:// 本郷学園同窓会 .jp](http://本郷学園同窓会.jp) & <http://www.hongo-gd.net>

Index

p1  
ごあいさつ

● 本郷学園同窓会 会長

1956年≡昭和31年卒業(高校8回生)  
南谷 修

● 学校法人本郷学園 理事長

松平 頼昌

p3  
投稿

● 本郷高校から建築家の道へ

2007年≡平成19年卒業(高校59回生)  
武井 良祐

● 海上保安官として

2007年≡平成19年卒業(高校59回生)  
宇山 宗孝

● 茶道家として生きる

2006年≡平成18年卒業(高校58回生)  
小谷 一仁

● コロナ対策の実際

〔医療現場およびスポーツ現場において〕  
1998年≡平成10年卒業(高校50回生)  
福島 理文

● わが半生を振り返って

1983年≡昭和58年卒業(高校35回生)  
岩崎 弥一

● 小さな紙面から巨大なスクリーンへ

1976年≡昭和51年卒業(高校28回生)  
重松 裕

p30  
トピック

● 本郷医師の会

1996年≡平成8年卒業(高校48回生)  
杉下 和行  
本郷医師の会幹事長

p31  
2022年度事業計画・予算案

p33  
2021年度事業・決算報告

p34  
2021年度表彰報告

p36  
本郷学園同窓会役員(案)

p37  
本郷学園同窓会会則

p39  
学園だより  
● 2022年度大学入学試験合格結果

p40  
本郷学園同窓会会費納入者一覽

p45  
計報

ごあいさつ



本郷学園同窓会  
会長

南谷 修

1956年=昭和31年卒業  
高校8回生

同窓会の皆様、日頃より会の運営にご理解ご協力を頂き、誠にありがとうございます。

未だ納まることのない新型コロナウイルスの感染が、世界の経済を疲弊させ、社会に大きな痛手となっており、慣れも起きてまいりました。皆様におかれましては、十分に留意なされてお過ごしいただきたいと存じます。

本郷学園は創立100周年を迎えます。1922年、大正11年に着工して翌年1923年、大正12年に開校し、本年100周年となり記念行事を学園が進めております。

その方針に合わせて、協力するよう努めております。

特に10月30日の本郷祭に合わせて、在校生と卒業生との交流を目指す企画が進められているようであります。卒業生の皆様には非とも学校に来ていただき、校舎、環境を見ていただき、在校生と交流していただきたいと存じます。

学園は、この2年間で以上コロナ禍で、オンライン授業を導入し、入学式、卒業式なども教職員と生徒だけで行い、来賓も保護者も同席することが叶いませんでした。このような状況下での活動は、教職員、保護者、生徒と学園の強い意志と協力によるものであります。

その一方で、完全中高6年一貫教育も順調に進んでおりますようで、今後が楽しみですし期待をしております。進学につきましても、39頁の学園便りで紹介しておりますとおり、良いようです。

生徒の活動は、コロナ禍で制約を多く受けているなか、幅広い分野で

大活躍しております。34、35頁に記載の2021年度表彰報告のとおりです。

同窓会の活動は引き続き、コロナ感染を考慮して、校内での活動を中止いたしました。生徒たちへの表彰も学校側に依頼しました。

運営委員会は2回開催したのみで中止いたしました。従って、総会も中止せざるを得ませんでした。「はたちの集い」も延期といたしました。本郷祭などの学校行事も見合わせていただき不参加となりました。

こうしたこの1年の同窓会の活動でしたが、ウクライナ問題とともにコロナ問題が1日も早く終息し、晴々と学園創立100周年をお祝いしたいと、祈る日々であります。

皆様のますますのご活躍、ご健勝をお祈り申し上げます。これからも同窓会をよろしく願っています。

ごあいさつ



学校法人 本郷学園  
理事長

松平 頼昌

同窓会の皆様におかれましては、学園の為に多大なご指導とご支援を頂いておりますこと、深く感謝申し上げます。本年、本郷学園は、100周年を迎えます。この100年間、卒業生を輩出し続けることが出来たという大きな結果ではありますが、そこには卒業生が大いに活躍して下さった結果の上に成り立っているものと信じて止みません。

さて、現在100周年行事の準備を進めておりますが、10月27日には生徒中心の式典、10月30日には、卒業生を迎えるの式典を計画しております。特に10月30日は、本郷祭との並行企画となり、在校生と卒業生との交流を目指した展示を

目指しております。是非とも、多くの卒業生が学校にて久々に集い、今の本郷学園を目にして頂きたく奮つての登校を希望しております。100周年は通過点ではありませんが、更に次の100年を目指して行けますようご声援の程宜しくお願い致します。

この2年というものは、コロナ禍での困難なもので、日々判断に迫られるものでした。しかしながら、大それた学校運営が可能でありましたのは、生徒並びにご家庭のご協力もあり都度の学校の対応にも応えて頂いたところがとても大きかったと振り返っております。教職員に於いても、日々の消毒や生徒への目配りによりかなりの心労となっており、心より感謝しているところでです。その中でも、オンライン授業など新たな工夫が生まれ、大きく前進したことは大変喜ばしいことです。しかしながら、生徒にとつて、学校という場に集うことの意義がとても計り知れない程大きいものであることも再確認され、授業だけでなく学校行事などの機会も失つてはならな

いものと強く感じております。

コロナ禍騒動から一転して、2月末にはロシアのウクライナ侵攻というとても悲劇的な事象が日々映像で流れております。子ども達への心の影響の心配から始まり、国家としての将来を考えさせられる日々であり、いかに教育が全てにおいて将来を大きく変えていく基礎となるのかを痛感すると共に、計り知れない程の重要な仕事であるかと思われ知らされる機会となっております。しかしながら、如何に将来を見つめようとするにしても、本郷学園の生徒並びに卒業生には、「強健、厳正、勤勉」を拠所として常に携えて頂くことに帰結するのではないかと言い続けたいと思っております。

改めまして、令和4年度は、本郷学園100周年という記念の年となりますが、同窓会の皆様とご一緒にお祝い出来ますこと心より嬉しく思っております。卒業生という本郷学園の財産を大切に守って行くことを誓いますとともに、今後ともご支援の程賜りますよう宜しくお願い申し上げます。



# 本郷高校から 建築家の道へ



2007年＝平成19年卒業  
(高校59回生)

武井 良祐

## 自己紹介

本郷高校を2007年に卒業した武井良祐と申します。現在は東京と大阪の2拠点を中心に株式会社OSTRという一級建築士事務所の代表をしている建築家です。私は高校から本郷高校に入学し、ラグビー部で3年間で過ごしました。その後、芝浦工業大学建築学科に入学、さらに横浜国立大学の大学院で修士を取得しました。卒業後は建築設計事務所で3年間働き独立し、現在に至ります。

## ラグビー部の思い出

高校時代はラグビー部の思い出がほとんどを占めています。入学当初は、中学から続けていたバレー部に入ろうと思っていたのですが、担任の先生であった平井先生の、強

い部活へ入った方が良い！という言葉を真に受けてラグビー部へ入部しました。

当時はラグビーを高校から始める同期も多く、部員も今ほど多くなかった事もあり、全くの素人であった自分が公式戦に急に出る事もありました。練習ではタックルもままらない中で試合に出ると、意外とこれは本気でやらねばダメなんだ、と気付かされるのめり込んでいきました。

当時ラグビー部の監督は大浦一雄先生で、コーチとして渡邊宣武先生にご指導頂きました。お二人からは非常に大きな影響をうけて現在の僕の人間性が出来上がっています。大浦先生からはどんな時も自分に厳しさを忘れない心を、渡邊先生からは熱く物事に取り組

む姿勢を学ばしました。

僕らの代は関東大会でブロック優勝、秋の大会では東京都決勝まで進出をしました。決勝では國學院久我山高校に負けてしまい悔しい思いをしたのですが、僕らの二つ下の代が花園進出をしてくれて非常に嬉しかったのを覚えています。

## 建築デザインへ進むきっかけ

担任の平井先生が安藤忠雄さんという世界的に有名な建築家のファンだった事もあり、世の中にはすごい建築があるのだ、という話を時々してくれました。当時の僕は建築というのはハウスメーカーが作るという事くらいしか知らなく、建築家という職業があるのか、と驚きでした。

父が漫画家だった事もあり、絵の世界に入ってみたいという思いもあったのですが、母の勧め(母は建築をやってみたらいい)と平井先生の安藤忠雄さんの印象も強く残っていたので、最終的には芝浦工業大学建築学科へ入学しました。

大学時代はどっぷりと建築デザインにはまりました。最初の課題は住宅の設計課題でした。敷地内に何本か樹木が生えていて、それらを残し、樹木の大きさにあった壁柱を建ててそこに床をつくって人の居場所をつくるという提案を出し、学内最優秀をいただきました。そこからどんどん建築デザインにのめり込んでいきました。寝食も忘れ大学に泊まり込み、課題に打ち込む生活は毎日非常に楽しかったです。

もう一つ僕の体験として重要だったのが、海外に1ヶ月ほど旅に出てひたすら世界の有名な建築や街並みを見て学ぶ事でした。これは友人と3人でフランス、イタリア、スイス、ドイツを巡る旅でした。安藤忠雄さんも独立前に世界を旅をして世界の建築を見て回る事で建築の奥深さを学んだと言います。

僕の場合は友人が海外の建築家に詳しくかったので教えてもらいながら色々みて回りました。特に感動的だったのが、ル・コルビュジエとい



写真1

う建築家が設計したロンシャンの礼拝堂(写真1)という建築です。

写真では見た事はあったのですが、実際にはその空間を体験しないと分からない凄さがありました。その日は雪が降っていて非常に寒かったのですが、礼拝堂の中に入るとさらに寒いという衝撃の体験をして、無数にある窓から劇的な光



写真2

が入り込む光景は空間の力強さを感じざるを得ませんでした。

社会に出て独立してからも、ポルトガル、スリランカ、シンガポール、台湾、モロッコなど旅を続けて実際に現地で素晴らしい風景(写真2)や建築体験をしています。そういった体験は現在の自分の建築デザインへも影響しています。

## 独立後の楽しさ

独立して最初に手がけたプロジェクトは「湯島の住宅」という2世帯住宅でした。これは大学時代の友人からの依頼で、その友人と親世帯が住む家でした。家というよりほとんど集合住宅みたいな大きさですがこの場所にしかない建築を導き出せました。

前面が大通りのため外からは見



写真3

られたくないが、部屋の中は明るくそして風通しの良い家にした、というある意味矛盾した要望でした。そこで僕は部屋の外にもう一つ壁を作る事で外からの視線や音を遮る事を考えました。ただそれだけだと、閉じた暗い建築になってしまうので、壁にたくさんの孔（開口）を開ける事で明るさを確保しました。



写真4

孔の位置は自由に設定できるように構造計算を行いました。その事で光は入るけど、外からは見えづらいうちの家を計画できました（写真3、写真4）。

その後は自分たちのオフィスを設計しました。ここは元々2軒の長屋を前の持ち主が一体的に住み始めて二つの建物が一体化されていました。僕たちは元々あったであ



写真5



写真7



写真6

ろう家と家の間の道を復活させて外から中に道を引き込む設計をしました。

こうする事で外に閉じすぎない街を感じられるオフィスを目指しました(写真5)。半分はシェアオフィス、半分はレンタルスペースで現在は本屋さんが入っています。運営も自分たちで行っています。

また昨年、東京に自邸兼東京事務所を設計してつくりました。築40年を超えた木造古家のリノベーションです(写真6、写真7)。

この敷地は4面建物に囲まれた旗竿敷地という場所に建っているため、中が非常に暗かったのですが、真ん中に大きな吹抜けをつくる事で2階からの光を1階まで落としました。

また坂道が多く、自分たちの敷地内にも階段があるので、その階段や坂がそのまま家の中にまで入る様なデ

ザインとしました。

この家でも閉じるのではなく、街の体験がそのまま家として出来る上だと豊かな生活が出来ると考え実現させました。

### 現在、そしてこれから

現在は自分たちの事務所を運営しながら、横浜国立大学大学院YIGSAにて助手もしています。教える立場ではいるものの、教授や学生からの学びが多く改めて勉強し直すタイミンクに入っています。

また現在、高校時代ラグビー部で同期の大野太郎くんの家の設計と一緒に進めています。高校時代に同じ目標を持っていた友人と一緒に仕事できる事はこの上ない幸せです。しかもその友人が住む家自身が設計できるという喜びを感じながら最近はおこしています。



## 海上保安官として



2007年＝平成19年卒業  
(高校59回生)

宇山 宗孝

皆様、はじめまして。平成19年卒  
(高校59回生)の宇山宗孝と申し  
ます。現在、海上保安官として勤

務をしております。私の簡単な経  
歴を書かせていただきますと、第一  
管区海上保安本部(北海道)採用

として海上保安学校を卒業、平成  
26年から江差海上保安署巡視船  
かむいに2年勤務、平成28年から  
海上保安大学校にてロシア語研修  
に参加、平成29年から根室海上保  
安部巡視船さろまに2年、同保安  
部巡視船かりばに1年勤務、令和  
2年から羅臼海上保安署巡視船  
てしおに1年勤務、現在同保安  
署にて署員兼ロシア語国際捜査官  
として勤務をしております。

私は本郷高校在学時代は所謂  
不真面目な学生であり、結局大  
学受験もせず、当庁に採用される  
まで気ままにフリーター生活を満  
喫していた者ですので、「銀友」へ  
投稿してみないかと声をかけて頂  
いた際には非常に驚きました。当  
初、私自身は人に誇れるような人  
生を送っておりませんので、お断り  
させて頂こうかと考えたのですが、  
せっかくなので、僭越ながら、自  
身を振り返りつつ、私が現在携わっ  
ている業務について書かせていた  
だきます。



羅臼の街と羅臼岳



羅臼の流水

## 本郷高校時代

本郷高校在学时、私は非常に内向的で、情熱をもって何かに取り組んでいくということもなく、勉強に励んでいるわけもなく、日々漫然と過ごしていた学生でした。担任の平井先生、小川先生には非常にご迷惑をおかけしたと思います。この場をお借りしてお詫び申し上げます。

さて、そのような学生生活を過ごしていた中、放課後、部活動で汗を流し、泥にまみれた同級生の表情を見て、羨ましさを覚えた記憶があります。また、高校3年生になり、そういった学生が、部活動をやめ、受験勉強に集中したときの学力の伸びというものは凄まじいものであったと強く印象に残っています。

私は怠惰な人間でしたので、同級生と切磋琢磨するということが出来ずに学生生活を終えてしまいました。今思い返すと、何かに真剣に取り組んだ人間は、別の何かに取り組む際も凄まじい力を発揮す

るということを学べたのは、本郷高校にそういった学生が非常に多かったからだと考えております。

## 海上保安学校時代

高校生活を低空飛行で何とか終えたのですが、その後、何事にも興味を持つこともせずフリーターとして生活をしていたところ、実家に帰省した際に、同じマンションに住んでいた母親の犬友達と知り合いになりました。その方が海上保安官であり、私が海上保安官を知るきっかけとなった方でもあります。

その方から海上保安庁の職務は多岐に亘るものであると紹介を受け、自分でも何かしら興味のあることが見つかるのではないかと考え、海上保安庁の採用試験を受験し、無事合格しました。

海上保安官は採用試験合格後、すぐに現場に出るというものではなく、まずは1年間、京都府北部に位置する舞鶴市に所在する海上保安学校で寮生活を送りながら、海上保安業務に必要な学術や

技能を学び、併せて心身の錬成を行います。

授業は、「共通科目」として、法学概要、海上保安業務概要、初任公務員心得、国際法、英語、情報処理等が、「専門科目」では刑法、刑事訴訟法、航行安全、海上環境、鑑識実習、救難防災等の実習、逮捕術の訓練等が行われます。

また、その他に、巡視船での勤務では各員が航海科、機関科、通信科、主計科等に分かれてそれぞれ専門的な船務にあたることから、各科専用のカリキュラムが組まれ、船舶運航に関する基礎知識や海技士等の特殊な資格を習得することになります。

寮生活については、海上保安学校学生の大多数の者は、卒業と同時に「巡視船艇」を始めとする特殊な環境で業務を行うこととなりますので、室内の個人に与えられるスペースは巡視船艇と同程度であり、また、巡視船艇の勤務にすぐ慣れるように、ポケットハン

示す等様々な規則等があります。

また、年間を通じて、容儀点検、寮内点検、物品点検等が実施され、出来ていない箇所については厳しく「指導」をしていたので、否応なしに「規律、責任感、礼儀」等が身につきました。最初は学生生活を「大変な生活」と感じましたが、1、2カ月程度も経てば特殊な環境に慣れた自分がいることについて、同期同士で笑いあっています。

また、真面目な学生生活を送っていたにもかかわらず、寝食を共にした仲間と共に部活動や行軍、3海里の遠泳等に取り組めたことは自分にとって非常に良い思い出になるとともに、ようやく自分も何かに取り組めたと安心したことをよく覚えています。

### よくある勘違いについて

さて、私の携わっている業務についてお話しする前に、よくある誤解についてお話しさせてください。私も入庁するまでは、大して海上保安庁に興味がなかったもので、勘違い

していたものになります。よく言われるのが「どんな船に乗っているの」、「海猿なんでしょ、潜るの大変ですか」、「海保って海自の一部みたいなものでしょ」、この三つです。

まず、「どんな船に乗っているの」とよく聞かれるのですが、海保では現場に配属されるが、船艇職員と陸上職員に分かれて業務にあたります。1人の海上保安官が、巡視船艇と陸上での業務を、何年かのスパンで異動を繰り返します。海上保安庁全体の職員数はおおよそ13,000人で、船艇勤務と陸上勤務職員の詳細な割合については割愛させていただきますが、おおよそ半分半分と言われております。

よくあるキャリアパスとしては船艇勤務を経て陸上職員を経験させ、そこから職員の適正、業務意欲、職員の希望等を鑑みて、といった形のようなようです。

二つ目の「海猿なんでしょ」については、潜水士のことを題材にした漫画が海猿というタイトルで、

その漫画、ドラマ等が大ヒットをしたことにより、海猿は潜水士、潜水士は海上保安庁職員、つまり海上保安庁職員は潜水士という図式が成り立ったのでしょうか。実際の潜水士は海上保安庁全体では1,2パーセント程と僅かな人数しか選抜されておりません。

昔、元潜水士の上司にこのことについて聞いてみたところ、海猿と呼ばれていたことはないから漫画の創作じゃないかな、漫画のおかげでかっこいいイメージがついたから嬉しいけど、とおっしゃっておりましたので悪い気はしていないようです。

三つ目の「海上自衛隊みたいなものでしょ」については、おそらく船に乗って海で働いているというところから勘違いされる方が多いのかなと思っております。そういった方には、ものすごく大雑把な説明ですが、海上保安庁は海難救助から治安維持まで行う海上の警察のよいうなものです、と説明させていただきます。しております。

## 現場に配属されて



海上保安六法

先ほど説明させていただいたように、当庁の業務は海難救助、海上の治安維持が主となりますが、これは警備救難業務にあたり、その他の業務にあつては総務、装備技術、海洋情報、交通といったように多岐にわたります。当庁に採用されて以降、私が関わったものは主に警備救難業務になりますが、それすらも偉そうに語れるほどの知識はありませんが、せっかく頂いた機会ですのでお話しさせていただきます。

海上保安学校を卒業した後、最

初に配属された部署は江差海上保安署という北海道の南に所在する部署でした。海上保安官たるもの船務についてもおろそかにすることは出来ません。船務については例えば基本中の基本である出入港作業についてお話しします。たかが出入港作業だろうと思われる方もいらつしゃると思いますが、ミスをして骨折するだけならまだマシ、指等の欠損、一つ間違えれば命を落とす職員もいます。また、海上救急や警備業務で複合艇というゴムボートを使用するのですが、この訓練で急な制動を行ったことにより乗組員が海中転落し、結果プロペラに巻き込まれて死亡といった事例もあります。

海上保安学校で基本的な船の知識を学んだといつても、結局は知識と動きが連動していないことから、実働ではほとんど何も出来ません。命に係わる可能性があるのが船務ですので、何も分かっていない私がうっかりと危険な行動をしそうな場合や、してしまった際には厳しい

指導を受けることになり、そうして基礎を固めていく毎日でした。

小さな船で人数も限られていたので少しでも早く戦力になれるよう自主的に訓練や勉強をしていると、先輩方も時間を作って教えてくれたりもしました。こういった職員育成の熱心さ、職員同士の繋がり、の深さが、13,000人という少人数で全国の海を守らざるを得ない海上保安庁の特色かなと思っております。

また、江差は所謂密漁が非常に多い土地でした。巡視船勤務とは言うものの、船は月に何回か出航するのみで基本的に着岸している時には毎日のように官用車等を使用して外を周り、密漁者を検挙する日々でした。たしか当時一管区内でトップクラスの部署検挙件数を叩き出していたはずですが、検挙をした場合、検察に送致するまでに多大な書類も作成する必要があり、仕事に慣れていない私は先輩方に法的な根拠、捜査書類の作成方法等々をひたすら指導をうけつ





ロシア語辞典

つ業務に励んでおりましたが、すべてが新鮮で、非常に充実した2年間だったと思います。

この江差での2年間、特に刑事業務に携わることが多かったことが、私の中でのその後の海上保安官人生の分岐点になりました。今まで何事にも興味を持ってなかった私が、日々、法律について勉強をして、実働では迅速に初動捜査を済ませ、

スマートに被疑者を取り調べる先輩方の背中を見て、自身もこうなりたいと興味を持ってたことについては喜びを噛みしめております。

### 国際捜査官として

私は一般の海上保安官とは違い、ロシア語の国際捜査官として指名も受けております。当庁の国際捜査官は中国語、韓国語、ロシア語に分かれており、最初にお話ししたように、現場に配属され、現場経験を積んだのち、海上保安大学校でそれぞれの語学を学び、研修を修了した者が指名されるものです。

国際捜査官の業務としては、外国語を駆使して外国人犯罪の捜査を行います。海上での外国人による密漁などがあった場合、巡視船艇等で現場に臨場し、被疑船舶を停止させ、相手船舶に移乗し、語学を駆使したうえで迅速な初動捜査を行うことがあります。また、入港する外国船に対し、薬物や銃器などの違法なものや日本に持ち込もうとしないか、立入検査を行ったりもしますし、語学

能力を駆使して外国人から情報収集をしたりもします。

このように語学能力が業務遂行に大きく影響することから、日ごろからその維持向上に努めなければならず、業務の合間や、自身のプライベートな時間を使用して語学能力の鍛錬に励むことになりました。また、語学能力だけでは捜査活動では役に立ちませんので、法律の勉強、事案対応、規律判断の勉強等も当然必要になります。しかし、今まで何にも興味を持ってなかった私が、ようやく見つけた「興味」ですので、大切に育てていきたいと思えます。

自身の「興味」が皆様の生活の治安維持向上に繋がることに喜びを覚えながら、以後も海上保安官として誠心誠意業務に励んでいきたいと思えます。

この度は、投稿の機会を頂き、誠にありがとうございます。また、本誌の編集や運営をして下さっている皆様にこの場をお借りし感謝申し上げます。

# 茶道家として生きる

2006年=平成18年卒業  
(高校58回生)

小谷 一仁

ちょうど今から2年前、世界が

新型コロナウイルスという未知の恐怖に包まれ始めたころ、本業の証券会社では未曾有の大暴落により多忙を極めていました。そんなさ中、宮城県仙台市のと真ん中にあるビル（注：原文ママ）の4階に茶室を造り、茶道を仕事として生きていく決意をしました。ただでさえ全国的にはほ例のない事業形態、さらに明日の世の中さえどうなっていくのか見えない、そのタイミングでの判断は正直不安でしかありませんでした。

そしていよいよ初めてとなる緊急事態宣言が日本中に出され大混乱を極めたころ、SNS上（注：原文ママ）にその決意を書き、逃げ道が断られました。そしてその夏、僕にとって人生の転機ともいえる大きな経験をしました。クラウドファンディングです。

## クラウドファンディング

茶室建設にかかる予算は約1,500万円。家族の生活を考えると貯蓄から割ける金額は約500万円。もちろん借金はするつもりでしたが、ある友人から「そういう事業はクラウドファンディングに向いていると思うよ。」と勧められたのがきっかけで、考え始めました。サイトに掲載する文章を作成し、その他の準備も整い、あとは申請ボタンを押すだけ。

ところが僕はその申請ボタンを二か月以上押すことができませんでした。自分の好きなことを事業にする、そんな個人的なものに人様の大事なお金を出していただくなんて許されるのだろうか、もしかししたら、金の亡者みたいと思われるんじゃないだろうか、これまで仲

良かった人との仲まで壊れちゃうんじゃないか、これほどの恐怖は初めてでした。でもやってみたい気持ちもあり、周りの人に公言し始め、これまた逃げ道を断つことから始めました。

ある意味で事業そのものの決断以上に勇気のある決断だったように思います。結果は、全国約400名の方から600万円近いご支援をいただくことができ、クラウドファンディングとしては大成功といえる結果だったのかと思います。

しかし、実施期間の約2ヶ月間、たくさんの方の応援をいただく一方で、これまで仲良かった人から何の連絡もなかったり、頻繁に会う人との会話にクラウドファンディングの話題が全く出なかったり。声を上げて応援してくれる人がいる一方で、きつとその10倍近い人はよく思っていないんだろう、そんなことも見え、どちらかというとき苦しくて長い2ヶ月間でした。振り返ると、クラウドファンディングは篩

(ふるい)であり、生前葬、つまり、信用の数値化マシーンでした。

自分の素直な想いを発信するといふのはとても勇気のいることで、だから多くの人はそれを避け、なんとなく周りに合わせて生きていく、それがいわゆる同調圧力を生むわけですが、勇気をもつて真つすぐに発信し続ければ、確かに反発や非難を生むことも事実だけど、でも、少ない人数かもしれないけど、必ず応援してくれる人も声を上げてくれる。

一度きりの人生、なんとなく我慢し続ける人生よりも、数はわずかでも、同じ方向を向いてくれる人たちとやりたいことをして生きていきたい、そのための篩分けだったように思います。

また、それまでの人生で自分はどうだけの人に信頼されうる人間になることができたか、それを残酷なまでに数値化するシステムでもあったように思います。もし今、高校や大学の先生をしていたら、間違いなく夏休みの宿題は、「クラ



ウドファンディングをする。」にしよう。

今の時代、誰もが世界中に「やりたい」を発信することができる。その伝え方、そして、その結果の背景にある、人にとって最も大切な「信用」というものを、学べる最高のツールだと確信します。

話がそれましたが、クラウドファ

ンディングで約300万円(システム利用料や返礼品経費を差し引くと残るのは約半分)を調達することができ、残りを金融機関から借りることで無事、昨年春、茶室は完成しオープンすることができました(写真)。そしてオープンから3か月、15年間勤めた会社も退職し、その茶室で、茶道教室をしたり、カフェをしたり、イベントをしたり、そしてたまにお金の勉強会を開催したりしています。茶道を始めて22年、毎日ワクワクしています。

### なんとなく通った本郷

僕が本郷学園にいたのは1994年〜2000年、中学、高校の6年間。成績はそこそこ、部活に打ち込むこともなく、毎日廊下でカラーボールを使ってサッカーをしては先生に怒られる毎日。とくに目標もなくなるとなくその日その日を楽しむ、そんな6年間でした。

そしてその6年間、毎日満員電車で通うのですが、偶然友達と

行った品川駅で大きな出来事がありました。

ものすごい数の人が、同じ方向に、そしてすごい速さで歩いていく。行きたい方向も違うし、急いでもない僕はその流れにはじかれて、にらまれて、どうしてただ歩きたい方向に歩きたいスピードで歩くことが許されなんだろう、そう思ったのを今でも覚えています。そんなことから次第に東京が苦手になっていき、高校2年生、大学の志望校を考えたとき、まだやりたいうことも見つからなかった僕は、とりあえず東京を出ることを決めました。

第一志望は東北大学工学部。仙台には行ったこともなく、それはただ得意な数学の配点が高いから、それだけの理由でした。でも、今考えたとその選択が僕の人生を大きく変えたことは間違いありません。

## 運命の出会い

無事東北大学に行くことができ、未知の土地で生まれて初めて

の一人暮らしが始まりました。そしてキャンパスライフといえどサークル活動。相変わらずこれといってやりたいことがみつからなかった僕に、ある日、友達から、「茶道部に見学行くから一緒にいこうよ。」と。正直まるで興味がわきませんでしたが、とりあえず一緒に見学に行ったことから全ては始まりました。

その茶道サークルは先生がなくて、先輩が先輩に教える、というスタイルのため、優しく教えてくれる先輩もいれば、厳しい先輩もいて、次第に、お点前もさることながら、サークル内の人間関係が楽しくなってきました。すっかり同期や先輩と仲良くなった僕は、頻繁に部室に練習に行くようになり、いつしかその空間に行くことが毎日の楽しみになりました。

気が付いたら毎日授業をさぼり、半日以上を部室で過ごす生活になっていました。一日12時間を約3年、これほどに茶道をした人がどれだけいるでしょう(笑)。大学卒業を迎えてもなお人生の目標も

定まらず、ただ学生期間を延長したいがために大学院進学を決め、引き続き茶道サークルにのめり込む毎日を送りました。

そんな延長期間も終わりに近づき、いよいよ就職活動。やっぱりやりたいことがみつからなかった僕は、世の中にはどんな業界、どんな仕事があるのかとにかくたくさん見てみることを決め、3か月足らずで200社以上、日本全国の会社説明会に行きました。それは大学入学以来初めて真剣になった時間でした。

そこで出会ったのが、100%歩合、成果報酬で働ける、という某大手証券会社の特異な働き方の説明会。それまでの人生、常になんとなくで生きてきた僕は、これなら頑張らなければいけない状況に追い込めて、本気になれるかもしれない、そう思い、まったく興味も知識もない証券会社に入ることを決めました。これもまた茶道と同じくらい大きな出会いでした。無事、就職先が決まった僕は、もう



卒業する意味がない、と翌日には大学院を中退し、学生生活最後の残り時間を全力で茶道をして過ごしました。

### 理想と現実

本気の自分に会える、と胸を躍らせて会社に入ると、そこはとにかく数字がものを言う世界でした。性別も年次も関係なく、大きな数字を上げた者が褒められ、そうでない者は罵倒される。そんな中で、知識ゼロ、お客様ゼロの状態からのスタート。

毎日1,000件もの知らない人に電話をし、また、お金を持っていそうな地域の家を毎日100軒、インターホンを鳴らして歩きます。そのほぼ全てが門前払い。名乗っただけで話さえ聞いてはもらえず、それどころか怒られることも珍しくありません。最初の半年は結果という結果はほぼゼロでしたが、それでも、生まれて初めて必死になっていた自分がすごく嬉しくて、楽しく怒られていました。

そんな調子で仕事をしていると、

度々、上司、つまりは会社とぶつかることが出てきました。それは、お客様の利益を最優先したい僕と、会社からの評価（会社の利益）を最優先させたい上司（会社）の衝突でした。

現状の金融界の仕組みでは、お客様の利益がそのまま会社の利益にはならない構造のため、目先の利益を追及する会社（上司）とはとにかくぶつかるのです。つまり、これは上司（人）がわるいのではなく、仕組みが原因。上司が変わったところで何二つ状況は変わることはありません。いつしか社内の人間とはほぼ会話をすることもなくなり、ただお客様に喜んでいただくことに全てを割きました。

### 予期せぬスタート

そんな孤独な職場環境で働く僕を精神面で支えてくれたのが茶道でした。証券会社入社後、半年ほどして仙台の茶道教室に入り、お茶を続けることに。そして今から7年前のある日、知人を介して、「茶道を始めてみたい」という僕と同世



代の男性と知り合うことになりました。

それまで、教室をすることなんて1ミリも考えていなかったため、まずはサークルのようなかたちで月に1、2回お茶を点でて、和菓子とお茶をいただくつつ、お茶にまつわるお話をするようになりました。一切外には知られないようFacebo



kで非公開グループを作り、ひっそりと続けました。すると、2、3年後には口コミだけでグループは同世代を中心に60人近くまで増え、次第に、お点前のお稽古もしてみたい、という人も現れ始め、少しずつ、いわゆる「茶道教室」らしくなってきました。

世間では、「いまだきお茶なんて始める若い人はいない。」そう言わ

れていましたが、もしかしたら、関心を持った若い人が入っていきやすい「入り口」が用意されていないだけなのではないか。もしそうであれば、僕のような歳で、しかもまだまだ未熟者だからこそ入りやすい入り口になれるんじゃないか。そう思うようになりました。そしてそのうち、これだけ興味を持ってくれる人がいるなら、もったいい環境でお稽古させてあげたい、そんな想いが強くなり、冒頭の話に繋がることになりました。

### ほんの少しの勇氣と圧倒的な行動力

最後に、本郷といまの僕をつなげる一つの出来事についてお話ししたいと思います。いまから12年前、知人から譲り受けたチケットで行ったEXILEのライブ。当時のEXILEのメインボーカルは本郷で僕の二つ先輩の佐藤篤さん。直接の関わりはありませんでしたが、友達を通じて、在学中もその後のこともなんとなくは知ってました。

同じときに同じ場所にいた人が、5万人もの人の前で歌い、感動させ

ている風景に心を打たれ、と同時に、10年でこんなにも人は差がつくものなのか、とがく然としたのを今でもはつきりと覚えています。もちろんもともとの能力の差もありますが、きつと誰よりも自分の夢を信じ、努力し続け、勇氣ある判断をし続けたんだろうなあ、そう思い、その後の僕の二つの指針になったように思います。ATSUSHIさんがこれを読むことはないかもしれませんが、この場を借りて心から感謝申し上げます。

誰よりも「なんとなく」生きてきた僕でさえ、勇氣を出して自分を出すことで今、好きなことをして生きています。

ほんの少しの勇氣と、好きなことにはとことんハマる行動力さえあれば誰でも好きを仕事にできる、そんなことを感じていただけたら幸いです。それは昔よりずっとずっと実現しやすい時代になったと僕は思います。

# コロナ対策の実際

## 医療現場および

## スポーツ現場において



1998年=平成10年卒業

(高校50回生)

よしふみ

福島 理文

はじめに

1998年本郷高校普通科卒の福島理文です。私は、本郷生まれ、本郷育ち、本郷中高で、大学、職場も本郷にあり、本郷という名は慣れ親しんでおります。この度、「銀友」に投稿する貴重な機会を頂き、本郷医師の会の岡本明久先生、杉下和行先生に感謝申し上げます。今回、自己紹介とコロナ対策の実際、医療現場およびスポーツ現場において、述べてさせて頂きます。

### 本郷での学生時代

本郷中高での6年間は勉強・部活・遊びとバランスよくかどうかは分かりませんが仲間にも恵まれ楽しく過ごすことが出来、本郷に入ってから良かったなと卒業してからもつくづく実感します。多

感な時期に過ごした本郷での6年間で楽しかったこと・嬉しかったことだけでなく、大変だったこと・辛かったことなど色々なことを経験したことが、人間力を培うのに非常に大事だったのではないかと思います。中高時代はバレーボール部(体操部も兼部)に所属しておりました。当時は練習を週三回ほど頑張つてやっていたのですが、試合ではほとんど勝てませんでした。しかし、部活動を通じみんなで一生懸命頑張ることの大切さ・チームスポーツの楽しさを学びました。今でも、当時の仲間たちで話すと本郷での楽しかった思い出が最も近い様にたくさん出て盛り上がります。

### 本郷高校卒業後

本郷高校卒業後、順天堂大学医

学部に入学しました。大学時代は本郷中学時代から好きだったサッカー部に入つて部活に明け暮れた6年間でした。卒業後は順天堂大学医学部付属順天堂医院の循環器内科(心臓・血管の病気や高血圧・脂質異常症などの生活習慣病などを診る科)の道に進みました。本郷にある順天堂医院で日々、臨床を中心に教育や研究を行っています。

### スポーツドクターとして

10年ほど前からスポーツドクターの仕事もしております。スポーツドクターの仕事は大きく分けると院内と院外での仕事があります。院内での仕事としては、①心電図、血液検査、胸部レントゲンなどの内科的なメデイカルチェック、②健診で心電図に異常が見つかった方や持病を持った方がスポーツ活動をしてよいかの判断、③運動中に胸が痛いなどの症状が出る方の原因検査など、スポーツをする方々の内科的なサポートなどがあります。院外での仕事としては、スポーツ現場での

医事対応などがあります。

スポーツ現場での仕事としては、①会場ドクター（スポーツが行われる会場の医事担当で観客の方が怪我や病気をしたときの対応）、②チーム帯同、③スポーツ大会の本部や選手団ドクター、④ドーピング検査対応などがあります。

今回は内科医とスポーツドクターとしての2つの側面からコロナ診療の実際について書かせていただきます。1つ目は内科医としては病院でのコロナ診療、2つ目はスポーツドクターとしては、スポーツ現場でのコロナ対策についてです。

### 新型コロナウイルス感染症の現状

2019年12月に中国から始まった新型コロナウイルス感染症が流行して3年目。新型コロナウイルス感染症拡大は、私たちの日常生活、常識を大きく変え、いまなおニューノーマルは日々変化を続けています。執筆時点の2022年春の時点で、オミクロン株の感染が拡大した第6波では、春休み、年度替わりなどで人の接触が増えた

ことや、より感染性の高い『オミクロン B.A.2』に置き換わりが進むことなどにより、再び感染者が増加傾向に転じる可能性があります。十分注意する必要があります。ワクチン接種は『オミクロン B.A.2』にも有効性が示されています。

### 医療現場におけるコロナ対策の実際 新型コロナウイルスに関連する病院 の対応について(写真1、2)

病院ではコロナ陽性患者を受け入れておりますが、そこには医師、看護師だけでなく、多くのメディカルスタッフが携わっております。医療従事者にとってもコロナウイルスは未知なる感染症であり、怖さを感じながらの診療となります。それでも医療従事者の使命として感染者を助けるべく、苦勞しながら前を向いて日々コロナ診療を続けております。発熱外来ではPCR検査を行い、陽性者もいれば陰性者もいます。入院するような方は持病を持つハイリスクな方だったり、肺炎で酸素が必要であったり、全身状態不良な方です。

外来にしても入院にしても患者さんに接するときは、マスク、アイガード、フェースシールドを装着し、必要最小限の時間で対応します。さらに、エアロゾルや飛沫を浴びる可能性がある際は、N95マスクを着用します。

コロナ診療へマンパワーが必要となりましたし、病床もひっ迫しましたので患者さんを受け入れたくても受け入れられない場合も出てきました。その様な状況でも、日常臨床へ影響を出さない様にすることが患者さんのために大切でしたので、なんとかコロナ診療と日常臨床の両方とも質を落とさない様に心掛けました。

外来では、受診による密を避ける取り組みとして電話診療、オン



写真1





写真2

## スポーツドクターとしての

### 新型コロナウイルス対策の実際

#### 1. コロナ感染後のスポーツ復帰について

新型コロナウイルス感染症流行後の医療現場でのスポーツドクターとしての仕事として、コロナ感染後のスポーツ復帰についての判断をすることがあります。コロナ陽性者でも、発熱や症状のある陽性者と無症状陽性者がいます。

コロナ感染の症状としては、発熱、倦怠感、呼吸困難、関節痛、胸痛、咳嗽などがあります。そのため、スポーツ復帰前の肺の状態や心臓の状態などの評価を行っております。病院で行う検査としては、血液検査、胸のレントゲン、心電図検査などがあります。自覚症状や検査所見で全身状態を把握して安心してスポーツ復帰をして頂くようにはしております。復帰の際にも怪我をしない様に徐々に運動強度を上げていくことが大切です。

#### 2. 東京オリンピック2020サッカー

##### 日本代表チームドクターとして

東京オリンピック2020サッカー男子日本代表にチームドクターとして帯同しました(写真3、写真4)。2017年にチームが立ち上がり、チームドクターに選んで頂きました。整形外科医ではないので、暑さ対策やリカバリーでの疲労回復など内科的なコンディショニングなどがメインの仕事でした。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大後は、コロナ対策が非常に重要な役割になり、オリンピック本大会でも感染対策を行いました。チームの選手・スタッフから感染者が1人でも出てしまえば濃厚接触や感染拡大によりオリンピックに参加できない事態になりうる可能性も



写真3 (体温・体調チェック、JFA 提供)

ライン診療を行うようになり、継続しております。入院患者さんへの面会や付き添いも制限されております。オンライン面会も取り入れ少しでも患者さん、ご家族が安心出来るように努めております。私たちは、2年以上しっかりと感染対策を講じながらコロナ診療、一般診療を行ってきました。医療者としての自覚とプライドをもつて感染対策を講じた行動を今後も続けていき、皆様に安全・安心の医療が提供できることを心掛けてまいります。

あったので、感染対策はいつも以上に責任を感じ行いました。

ここでは、東京オリンピック2020におけるサッカー日本代表チームのコロナ対策について書かせていただきます。

まず、国際オリンピック委員会がオリンピック選手のために用意したワクチンを接種しました。ワクチン接種は特に2回目の副反応が強いことが分っておりましたので影響が出ないように本番まで十分に期間がある様に配慮しました。ワクチン接種後は選手の体温・体調チェックを入念に行いました。翌日の練習は副反応が出た選手には無理をさせない様にするなどチームで副反応対策を共有して行いました。今回のサッカー選手団は選手村



写真4 (ピッチにて、JFA 提供)

ではなく村外ホテルでの生活でした。長期間の共同生活となるので、まず、選手を集めて感染対策についての教育を行いました。宿泊中は一人部屋とし、自室以外ではマスクを着用、部屋の行き来はなしとしました。食事会場に入る前は必ず手指消毒。飛沫感染予防の点からスクール方式で1m以上間隔を空け、同一方向で食事を摂りました。大会中、座席は固定としました。食事中、会話するときは必ずマスク着用としました。ピユッフエ

スタイルでは、密にならない様に食事を取り、マスク着用、トングは手袋を着けて使用しました。

怪我やコンディショニングのチェックやケアが行える様にメディカルルームを設置しました。メディカルルームの前と中に感染対策のルールを書いた紙を貼り、ルールを守っての使用となりました。移動のバスや新幹線や飛行機も密にならない様に手配して頂けました。練習や試合で使用するロッカーやシャワールームでの感染対策は難しさも感

じる部分はありましたが、密になりやすいところなので特に注意をして感染対策を行いました。

選手たちはしっかりと自覚を持って感染対策をしたお陰で事前合宿から本大会終了まで5週間に及ぶ期間、1人も感染者を出すことなく無事に大会を終えることが出来て良かったと思います。

これもひとえにコロナ対策にも多くの方々が協力して頂いたお陰であり、心より感謝の気持ちでいっぱいです。

## おわりに

今回、コロナ対策の実際／医療現場およびスポーツ現場においてくについて書かせて頂きました。改めてですが、コロナ対策は、手洗いやうがい、マスクの着用、3密を避けるなどご自身でできる感染予防対策を徹底していただくことが大切です。本郷高校OBの方々が健康で怪我せず、元気に過ごしていただけることを切に願っております。今後ともよろしくお願いたします。

## わが半生を振り返って



1983年＝昭和58年卒業  
(高校35回生)

岩崎 弥一

初めまして。1983年卒(高校35回生)の岩崎弥一と申します。現在、富山県で総合建設業アルカスコーパーション(株)の代表取締役社長、南砺市商工会副会長として日々忙しくさせていただいております。この度、ご縁があつて本郷学園同窓会誌『銀友』に投稿させていただく貴重な機会を賜りました。本郷高校在籍中からのエピソードを交え、これまでの半生を振り返りながら、バブル崩壊で瀕死の状態にあった会社の再建に奔走した日々や、現在取り組んでいる福祉事業について述べたいと思います。

## 学生時代

本郷高校時代を振り返りますと、最真目に見ても決して品行方正な生徒ではありませんでした。とにかく型にはめられるのが嫌いな

性格だったので、きつと先生たちも扱いには困ったことでしょう。そんな私でしたが、当時の先生たちのお計らいにより、何とか多感で難しい高校時代を無事に過ごすことができたと感謝しています。

特に高校2年生の時、クラスの枠を越えた仲間と結成したロックバンドで本郷祭のステージに上がり、多くの聴衆の前で演奏できたことが良い思い出として残っています。スピード感あふれるサウンド、過激な歌詞とファッションで人気となったパンクロックの人気バンド『アナキー』の曲を本郷祭で披露しました。ステージでの高揚感や快感は他ではなかなか味わえないものです。かけがえのない経験になりました。本郷高校で過ごした時間は、まさにロックバンドひとつに打ち込んだ

3年間であつたと思います。

その後迎えた大学受験は、ロックバンドに時間を費やしたお陰で失敗。結局、1年間の浪人生活を送った末に立教大学経済学部経済学科に進学しました。親には余計な金銭的負担をかけることになり感謝しています。実は、その1年間の浪人生活の間に尊敬していた祖父が亡くなるという大きな出来事がありました。生前は建設会社の経営者、町議会議員として活躍し、人望の厚かった祖父の死はとて

も大きな喪失感がありました。亡くなる前に病院にお見舞いに行つた時、祖父は初めて私に「いずれこの会社を継ぐのは君だ。」と告げました。それまでは長く祖父の住む富山県から離れて暮らして来たこともあり、あまり実家の建設業を継ぎたいなどと思つたことはありませんでしたが、その祖父の遺言ともいべき言葉を聞いて自分の心は決まりました。

いずれ実家の建設業を継ごう。そして、その為に必要なキャリア

を積んでいこうと。大学を受験するにあたり経済学部を選んだのも、経済を知らずして企業経営など出来ないであろうと思ったからでした。

### 大和証券く代議士秘書時代

大学の4年間は、自分の今後の人生をゆっくり考え、自分自身を深く見つめる良い機会になりました。それまで両親のお陰で特に大きな苦勞を経験すること無く、好き勝手に生きて来た自分の甘さを感じるようになっていました。

この頃から、もしこのまま苦勞もせずに実家の建設業を継いだら自分は会社を潰すかもしれない…と考えるようになりました。ならば自分を厳しい世界に置くしかない。そう決意して当時一番厳しい業界と言われていた証券業界に身を置く決意をして業界2位の大和証券株の門をくぐりました。昭和63年のことです。

大和証券株では、噂どおりの長時間労働と数値目標（ノルマ）による社会の厳しさを痛感することと

なりました。しかし、その一方で行動すればするほど結果につながるという「法則」を体感する貴重な機会となりました。「量より質」という言葉があります、それはとことん行動した者だけが言える言葉であって、質を高めるには先ず大量の行動が必要だということ学びました。

今から思うと、社会人として必要な事ほとんどは大和証券株時代に身に付けたと言っても過言ではありません。自分の甘さを払しょくし、経営者になる為の基本的なキャリアを積むには最適な職場だったと思っています。

大和証券株で2年間務めた後、平成2年3月にご縁があつて故萩山教嚴代議士の秘書となり、永田町を舞台として活躍することになりました。そして、萩山事務所で2年弱仕えた後、今度はあの鈴木宗男代議士の秘書に転身することになりました。

当時、鈴木宗男事務所と言えば、労働条件の劣悪な事務所、今

の言葉で言うならばブラックな職場として永田町では有名でした。そして鈴木代議士は、仕事にとっても厳しい人だという噂でした。緊張の面持ちで鈴木代議士に会いに行ったことを鮮明に覚えていいます。鈴木代議士の秘書として働き、予算獲得、各種陳情、国会見学、マスコミへの対応などに奔走した2年弱が今から思えば人生で一番多忙な日々だったと思います。

しかし、一方で鈴木宗男という圧倒的な行動力と強い精神力、そして非凡な地頭じあたまの良さを兼ね備えた比類なき政治家の側で働けたことは自分の中の「当たり前前の基準」を大きく高めてくれました。このことは、その後の人生において大きな財産となりました。鈴木代議士は当時、「人生出会い」という言葉を好んで色紙に書いておられましたが、まさに人生は「出会い」で創られるということを学ばせていただきました。

### アメリカ力時代

鈴木宗男事務所を辞めることに

なったのは、当時社長だった父から「そろそろ会社に戻ってこい。」と言われたからでしたが、急遽「会社に戻る前にせつかくだから2年ほどアメリカに行つて来い。」との命が下りました。平成5年の秋にアメリカに渡り、既に留学していた弟と同居することになりました。永田町という国の中心で代議士秘書として法案の成立や予算の獲得に携わつて来た者が、今度はアメリカという異国から日本を見る機会を得たことは、言わば自分の中に2つのスタンダードを持つことになったということですね。自分の視野を広げることに大いに役立ったと思っています。

今、若者たちがかつてのように海外に留学することを望まなくなっていると聞いています。しかし、海外で生活をして海外を直接見ることに、そして海外から日本を見ることは、人の成長に大いにプラスなると確信します。今、若くして著しい活躍を見せている人たちの多くは、海外に出て直接海外を

見る経験を持った人たちが多くと聞いています。今後、本郷高校を卒業する若者たちにはどんどん積極的に海外に出て欲しいと願つてやみません。

### 会社の再建に挑戦

平成7年の秋にアメリカでしか味わえない貴重な経験をお土産に意気揚々と日本へ戻つて来ました。しかし、そんな私を待ち受けていたのは、100億円の売上を誇る優良企業であったはずの実家の建設会社がバブル崩壊の影響を受けて借入金で80億円に膨らんで経営危機に喘ぐ姿でした。

そんな絶体絶命のピンチに急遽私が社長に就任することになりました。32歳の時です。今でも社員を集めて最初に行った演説は忘れることができせん。著しく低下していた社員の士気を高めたいと必死で心をひとつにして行こうと訴えました。同時に、新しく経営理念を作つて掲げ、ビジョンとして売上至上主義からの脱却を宣言し、新しい戦略として土地活用事

業を新しい柱として育成することを決めました。

土地活用事業を選んだのは、過度な価格競争に陥らない商品、自分たちの側で価格設定ができる商品を持ちたいと思つたからです。同時に聖域なきコスト削減も進めました。加えて遊休資産の売却を進め、生み出したキャッシュフローを原資に借入金の圧縮を進めました。そうこうしているうちに土地活用事業が軌道に乗り、高性能の賃貸マンションを地主・投資家に提案して約10年で50棟を超える実績をあげたことにより、弊社の業績はどんどん良くなっていきました。

そんな混沌とした状況の中で貴重な出会いをいただいたのがイエローハットの創業者であり、トイレ掃除で人々の心の荒みを取り除く活動をされていた鍵山秀三郎さんでした。先ず私が率先して男子トイレの掃除を始め、幹部も各々自分の持ち場を掃除するようになり、全社へと広がっていきました。たかがトイレ掃除、されどトイ



レ掃除です。トイレ掃除は、弊社の社風を大きく変えることに繋がりました。鍵山創業者との出会いも人生を変えるほどの意味あるものになりました。

### 福祉事業への進出

土地活用事業に参入してから10年ほどが経ち、賃貸マンションを地主・投資家に提案を続けて実績も上がっていた頃、少子高齢化が社会問題として大きくクローズアップされるようになりました。そこで、社会課題の解決を掲げてサービスピ付き高齢者向け住宅をはじめとする高齢者福祉事業に参入しました。弊社はここでも10年ほどの間にサービスピ付き高齢者向け住宅、住宅型有料老人ホーム、高齢者グループホームなどを合わせて50棟以上を地主・投資家・介護事業者等に提案し、施工することができました。

お陰様でピーク時に80億円にも膨れ上がった借入金も20年で約64億円を返済することに成功しました。単純計算で年間3億円で上のキャッシュフローを出し続けた

計算になります。取引金融機関の方々には、北陸でこれだけの再建を成し遂げた会社は無いと高く評価されることになりました。

そして、弊社が今、新たに取り組んでいるのが障がい者グループホームの普及です。高齢者福祉事業を展開している中で、高齢者施設よりもっと足りないものがあることに気づかされました。それが障がい者の方々のお住まいである障がい者グループホームだったのです。高齢者福祉事業の問題点として挙げられる老々介護と同じような問題が障がい者福祉事業でも起こっていますし、まだまだ障がい者への偏見や差別も少なからず残っており、障がい者が安心・安全に暮らせてイキイキと働ける環境づくりと共に、そのような偏見や差別の無い社会を実現したいと考えています。もしこのまま放つて置いたら生活保護に頼らざるを得ない障がい者が、障がい者グループホームや就労継続支援事業所を供給して環境を整えてあげることにより納税者になることが

できたならば、SDGsでも謳われている誰もが活躍できる社会、誰ひとり取り残さない社会に少しずつ近づいて行けると確信します。

昨年11月に幻冬舎から『福祉施設経営のススメ』(写真)という書籍を上梓しました。そしてこの度、『銀友』にも投稿する機会を得ることができました。これを機に、より多くの方々に障がい者への理解が深まり、障がい者福祉事業への共感を得られたならば、これ以上の喜びはありません。今後も社会課題の解決に積極的にチャレンジしていくことをお誓い申し上げます。ありがとうございました。



# 小さな紙面から 巨大なスクリーンへ



1976年=昭和51年卒業  
(高校28年生)

重松 裕

皆様初めまして。本郷高校を昭

和51年に卒業しました重松裕と申します。今回思いがけず「銀友」に投稿する機会を頂きましたので、本郷高校時代から現在の生活に至るまでを、少し回顧してみようかと思えます。

私は現在、長年勤めて参りましたスポーツ用品関連会社を2018年3月に二度定年退職し、引き続き再雇用契約社員として勤務しております。若い時分は、朝早くから夜遅くまで、それこそ休日出勤も厭わず、我武者羅に頑張つて来ましたが、今はそんな激務からも解放され、内勤として楽しく仕事をこなしております。心身共に余裕の出来た今、改めて自分の足跡を辿ってみたいと思います。

## 本郷高校「新聞委員会」

高校時代の私は、部活で汗を流すわけでもなく、かといって「流大」学を目指し、猛勉強をするわけでもなく、ごくごく普通の目立たない学生だったと記憶しています。それ故、これといった高校時代の思い出は頭に浮かびません。逆に、つまらない高校生活しか思い出せません。

そんな私が唯一覚えているのが、当時の「新聞委員会」での活動でした。事の始まりとしては、入学後間もない時期のホームルーム、当時担任の故仮名垣宏先生より、各クラス2名、新聞委員会への参加を募る旨の連絡がありました。当然誰も立候補せず、私も目を伏せていました。誰からも挙手がないことを想定されておられたのか、

「どうだ、重松、やってみたいか？」の一言が。内心「うわっ」と思いましたが、特に断る理由も思い付かず、「はあ、やってみます」と答えていました。

第一回の委員会ミーティングが召集され、各クラス2名の選出された委員たちが集合し、どんな活動をこれからするのか、3年生の委員長より説明を受けました。要は校内・校外を問わず、話題性のあるニュースに付いて、自分たちで取材し、記事を書き、学校新聞を作ると云うことだったので。「これは大変なところへ来てしまった。自分には無理」と思い、辞退する方向へ舵を切ろうと考えたのですが・・・その一方で、折角先生が推薦して下さったのだから・・・と考える自分もいたのです。

二回目のミーティングの日を迎え、どっちつかずのまま出席しましたが、思った通り参加人数はほんの数人程度でした。「やっぱりやめれば良かった・・・」と後悔もしましたが、時既に遅しで、結局参加



することとなりました。  
指導教諭は生物学の古川朝海先生。主な活動拠点は生物室。当時の「本郷高校新聞」は高校新聞界でも非常に注目されている素晴らしい高校新聞として評価されていました。では、何がそんなに評価されていたのか、どんなところが素晴らしいと称賛されていたのか。その当時、高校新聞界に携わった先

生方・ジャーナリストの方々のご意見を紹介します。

- ①「本郷高校新聞」は、学園生活の実態を包み隠さずズバリと報道することによって、全校生徒を引き付け、読ませる新聞として、新しいあり方を開拓して行った。
- ②「本郷高校新聞」は、全校生徒と共に、泥まみれになつて事実を掘り起こし、正直に本音を吐き出し、そこからみんなで考え、より良き学園を建設して行こうという新聞である。
- ③企画の視点のユニークさが挙げられる。問題を正面から見るのではなく、視点をちよつと移す事で、かなり面白く読ませてくれる。
- ④「本郷高校新聞」は「人」（生徒、先生、近所の店の方々など）をクローズアップすることで、その背景にある「何か」を考えさせてくれる。
- ⑤独自のレイアウトを開発し、読ませる（見せる）努力をしている。見出し、写真、イラストの使用方もうまい。こういう新聞を



作らせる学校側の態度に拍手を送りたい。

- ⑥「本郷学園新聞」には毒が無いし、胸くその悪くなる様なお説教も無いところが良い。生徒の心情をそのまま紙面に表している。
- ⑦「本郷高校新聞」がこれほどまでに評価と敬意を浴びているのは、学校教育という土俵を見失わず、その枠の中でギリギリ可



能な限りジャーナリスティックな紙面作りに成功しているからである。

以上の様な評価を頂いている中の紙面作りは、いやはや半端無く辛かった。取材なんてしたこと無かったし、ましてや記事なんか読む事はあっても、自分で書く事になろうとは夢にも思わなかった。頓珍漢な取材をした事もあったし、記事なんか何回突き返された

ことか……。改めて記事を書く難しさを知りました。

その頃、私達が手掛けた話題として、今も記憶に残っているものも少なからずあります。「若者は飢えている」なんてタイトルを付け、当時一大ブームを起こした「同棲」や若者を死に駆り立てる「オートバイ」の魅力についての意識調査、毎日の様に報道されていた高校生どうしの暴力事件、生徒のみならず教師の遅刻の実態調査など、校内の問題から社会問題までを取り上げておりました。その反面、「情報ばとろうる」と銘打った校内の面白く楽しい話題や、生徒が学校に対しての要望をズバツと言いつつ「声」のコーナー、自分の主義・主張・主観・思いなどを自由に述べられる「声紋」など、正に充実した紙面構成であったと思います。トップ記事を何にするか、何処の誰に取材するのか、誰がどの記事を書くのか……。時には夜までミーティングしたり、実際に取材に走ったり、眠い眼を擦りながら、何度も

記事を書き直したり。もうやめた！と思ったことも一度や二度ではありませんでした。それでも三年間続けて来られたのは、いつも笑顔で根気よく指導して下さった古川先生や、明るく楽しい雰囲気を出して頂いた諸先輩方のおかげでした。そして何よりも嬉しかったのは、刷り上がった新聞を教室で配った時のクラス全員の笑顔、歓声でした。この時の感動は今も心の中に残っています。

この経験を踏まえてジャーナリストの道を目指そうとは、全く思いませんでした。正直言って、もう取材だの原稿（記事）書きだのはやりたくもありませんでした（笑）。私の高校生活の唯一の貴重な体験です。今でも「本郷高校新聞」は発行されていますか？是非読んでみたいものです。

その後、獨協大学経済学部へ進学し、前述した様にスポーツ用品販売の会社に就職。定年退職後も再雇用契約社員として継続して勤務しております。

## 「シネマコンプレックス」の登場

そんな私の唯一の趣味は映画鑑賞です。初めて映画館に連れて行ってくれたのは多分私の祖父で、記憶にあるその時の映画は「モスラ」ではなかったかと・・・。

小学生になるともう怪獣映画の全盛期ですから、その類の怪獣映画は殆ど観たと思います。ただ、怪獣ブームも去り、中学・高校・大学と進むうち映画館からは足が遠のいていきました。社会人になってからも映画館はたまに行く程度で、とても趣味とは言えないものでした。それがある時を境として映画館通いが始まったのです。「シネマコンプレックス」と呼ばれる映画館の登場です。おかげで今ではほぼ週一週二で映画館通いです。

「シネマコンプレックス」(シネコン)とは、同一の施設に複数のスクリーンがある映画館です。従来型の映画館は、作品を抱き合わせた2〜3本立ての興行を行ったり、一度料金を払えば、同じ映画を二日中観ることが出来たり、更には立ち見も0



Kでした。それが「シネコン」では完全入替制を採用している為、単一または複数の作品を退場せずに連続して観ることが出来ません。

ここで「シネコン」のおおよそ共通する条件を挙げておきます。

- ① 複数のスクリーン(5以上)を同一の施設内に集約していること。
- ② ロビー(写真)や売店、チケット売り場、入口(もぎり)、映写室等を複数のスクリーンで共有して

いること。

- ③ 映画館としての名称は一つであるか、もしくは複数のスクリーンで統一性を持つていること。

- ④ 完全入替制を採用し、定員制か全席指定席制を併用することで立ち見が無いこと。

その他、「シネコン」は大抵の場合、ショッピングセンターのテナントとして運営されているか、スーパーマーケットなどが併設されています。これはショッピングセンターとシネコンの双方の集客効果を狙ったものです。また、ショッピングセンターの駐車場が利用出来る為、シネコンは自動車で来場する客層の取り込みにも成功しました。

映画館で観る映画は、TVやPCなどで観るのは全く違います。一番の違いは、何と言ってもスクリーンの大きさです。巨大なスクリーンで観る映画の迫力や臨場感とは他では絶対に味わう事は出来ません。それから音響。館内の何処に座っても音が耳に届きます。あと、全席指定制と云うのも大歓迎



です。今は便利な時代で、自宅に居ながら座席の指定が出来ます。シネコンのHPを開けば、観たい作品の上映時間や席の埋まり具合なども一目瞭然です。昔は良い席を取る為に朝早くから並んだものですが……。

### 映画は楽しく鑑賞しないと

次に私が楽しく映画を観る時の拘りを少々お話しします。まず、お住まいの付近に短時間で行ける「シネコン」があるかを検索し、取り敢えず会員登録をします（会員になった方が、鑑賞料金等の割引があります）。そして、観たい作品があったら、日にちや上映開始時間を調べます（上映開始時間は週で変わる時が多いです）。人気のある作品は一日の上映回数が多いので、なるべく空いている時間を選びます（朝一番かレイトショーがオススメです）。座席の位置はスクリーンにむかつて後方（目線の高さがベスト）の真ん中辺りが観やすいです。両隣が空席ならベリーグッドです。洋画作品の中には字幕版と日本

語吹替版の両方を上映する場合があります。私は必ず字幕版で観ます。確かに吹替版の方が、字幕を読む手間が無く、画面に集中できます。字幕でも吹替でも日本語訳には大差無いのですから。しかも字幕は、最長でも3秒間程度しか表示されません。それを読みながら画面を観るのは結構大変です。ただ、私はその俳優の生の声を聴きたいのです。どういった言い回しで、どんな言葉で表現しているのか。私にとっては原語で聴くことが洋画作品を鑑賞する醍醐味でもあるのです。

最後に私の最も好きな映画のジャンルはホラー、スリラー系です（このジャンルは敬遠される方が多いのですが）。次いでアクション、サスペンス系ですかね。また、最近ではサクセスストーリーやハートウォーミング的な作品もよく観ます。要は、面白そうな作品を片っ端から観ている感じでしょうか。巨大なスクリーンで観た映画を、後日TVで観てみると、かなり印象が

違つてみえます。「あれ？こんな感じだった？」なんて思うことも。

また、最近では小説やコミックスを原作とした映画作品も数多く作られています。原作を先に読むか、映画を先に観るかは意見の分かれるところだと思えます。私は必ず映画を先に観ます。先入観を持たず、ドキドキワクワクしながら画面に集中したいのです。

新着映画の情報は、本作の上映前の予告編か、映画館のロビーに必ず置いてあるパンフレットを参考にしています。特にシネコンではスクリーンが多いですから、パンフレットが沢山ありますよ。これらを見るだけで、もうワクワクして来ますね。

長々と書いて来ましたが、最後の最後で私が声を大にして言いたいことは、やっぱり自分が観たいと思った映画は、まずは映画館で観賞して下さいと云うことです。大画面を心行くまで堪能してみして下さい。誰にも邪魔されない自分だけの贅沢な時間を独占して下さい。映画の世界で、本当に楽しいものですよ。

T O P I C

# 本郷医師の会

本郷医師の会幹事長  
杉下 和行

1996年 平成8年卒業  
(高校48回生)

本郷医師の会は平成25年(2013年)に結成された組織です。会員間の親睦を深めるだけでなく、医療連携の推進や進路の相談などを非営利目的で行っております。年に1回の親睦会を毎年11月の最終土曜日に開催しております。これまで合計7回開催しております。令和2年に引続き、令和3年も本郷医師の会の開催を見送りました。今回も新型コロナウイルスの感染拡大が懸念されていたためです。

別ページに会員の福島理文先生が新型コロナウイルスに関する記事を書いて下さったので、そちらをお読みいただければ現場の医師の感覚が伝わるのではないかと思っております。

新型コロナウイルスのために、人と人の関係が疎遠になりがちです。特に、医療従事者は節制をすることを社会的にも求められました。外出や食事会などが大きく制限され、自宅と職場の往復と最低限の買い物以外は何もしていないという医療従事者も少なくないはずです。

原稿執筆時点ではオミクロン株が猛威をふるっている状況ですが、変異をさらに繰り返しさらに弱毒化することで、いずれは収束に至ると思われれます。その暁には、第8回本郷医師の会を盛大に開催したいと思っております。現時点では開催日は未定となっておりますが、開催決定後にホームページで告知予定です。

この記事を読まれた医師あるいは医学生の方は是非本郷医師の会にご参加下さい。毎年会員が増えておりますが、近年は医学生会員が増えております。同窓会の皆様、教職員の皆様はこの場をお借りしてお礼を申し上げます。現時点では年会費や義務はなく、自由な組織です。「本郷医師の会」で検索していただくと本郷医師の会のホームページが表示されます。そこに連絡先が記載されておりますのでご連絡いただければ幸いです。



杉下和行幹事長

岡本明久会長

会員相互の意見と親睦

〔定期総会・懇親会、「はたちの集い」は新型コロナウイルス感染症予防のため中止〕

● 理事会開催Ⅱ日時：10月15日（土）15時。会場：母校1号館2階会議室

● 理事懇親会開催Ⅱ日時：10月15日（土）17時。会費Ⅱ3,000円。会場：三菱養和会「巣鴨スポーツセンター」内

● 本郷祭（学園文化祭）同窓会展示室（ブース）開設Ⅱ10月29日（土）、30日（日）

● 還暦・30歳の集いなど同期会の開催支援

会誌の発行

● 「銀友」51号Ⅱ発行日：5月1日。発行部数：15,000部。A5版

母校の後援

● 各分野における全国規模の大同等で活躍した生徒を表彰  
● 卒業生全員に記念品贈呈

会員名簿の整理

● 同窓会会員名簿の管理とそれにとりまなう卒業生などの新会員・会員の住所変更登録、会費納入者・物故者の記録および「銀友」掲載用原稿作成など必要な各種事務処理Ⅱ業者に委託

ホームページの管理

● 同窓会行事の告知・開催報告ならびに更新、既刊を含む同窓会誌「銀友」の転載、住所変更受け付け、同期会等の開催告知・報告掲載など

その他の事業

● 学園教職員との懇親会開催  
● 卒業式、体育祭など学校行事への役員代表の出席、参観

会の運営

● 運営委員会開催日時：5月21日（土）15時、6月18日（土）15時、7月16日（土）15時、9月17日（土）15時、10月15日（土）13時、11月19日（土）15時、12月

17日（土）15時、1月21日（土）15時、2月18日（土）15時、3月18日（土）15時。会場：いずれも母校会議室

● 「はたちの集い」（第16回。2021Ⅱ令和3年3月卒業生へ高校73回生V対象）実行委員会開催Ⅱ日時：2月18日（土）13時。会場：母校会議室  
● 「はたちの集い」（第18回。2023年令和5年3月卒業生へ高校75回生V対象）実行委員会結成：3月15日（水）正午。母校会議室

## 同窓会からのお願い

年会費納入に是非ともご協力ください 一口：2,000円以上

同窓会の運営はすべて皆様の会費で行っております。

振込取扱票を同封いたしました。

インターネットバンキングを含む銀行振り込みも可能です。その際は会員番号（振込取扱票に印字してあるお名前の下の8桁の数字）か、氏名と卒業年（昭和はS、平成はH、令和はRと表記してください）を明記してください。

銀行口座：三菱 UFJ 銀行駒込支店 普通口座 0821142 本郷学園同窓会

### 2022年度収支予算案

2022年4月1日～2023年3月31日

(単位：円)

科 目	収 入	科 目	支 出
前年度繰越金	5,980,053	総会(0回)、理事会(1回)開催	150,000
新卒者同窓会入会金	3,000,000	資料作成費	50,000
同窓会年会費	2,000,000	懇親会費	100,000
はたちの集い	400,000	会誌発行費(15,000部)	2,950,000
会費	150,000	銀友制作費	
学校側負担金	250,000	宛名印刷費	
懇親会会費	100,000	ラッピング費	
理事会	100,000	発送費	
総会	0	編集諸経費	
雑収入	0	行事部門	1,800,000
		はたちの集い	700,000
		本郷祭同窓会出展費	200,000
		同窓会開催支援費(活性化)	100,000
		活躍した生徒への激励費	500,000
		卒業生記念品費	150,000
		学園懇親会費	150,000
		会員名簿保守管理費	250,000
		ホームページ年間契約料	70,000
		運営委員会交通費補助	200,000
		事務費	100,000
		備品費	
		消耗品費	
		資料作成費	
		通信費	
		雑費	
		支出合計	5,520,000
		次年度繰越金	5,960,053
合 計	11,480,053	合 計	11,480,053

# 2021年度 事業報告

2021年4月1日～2022年3月31日

(下記の項目以外は新型コロナウイルス感染症予防のため中止)

- 会誌の発行  
「銀友」50号 発行日：5月1日。発行部数：15,000部。A5版  
母校の後援
- 各分野における全国規模の大会等で活躍した生徒24人(16件)を表彰
- 卒業生全員306人に記念品として印鑑を学園ならびに父母の会と共同で贈呈
- 会員名簿の整理  
同窓会会員名簿の管理とそれにならなう卒業生などの新会員・会員の住所変更登録。会費納入者・物故者の記録および「銀友」掲載用の原稿作成など必要な各種事務処理 業者に委託
- ホームページの管理  
同窓会行事の告知・開催報告ならびに更新。既刊を含む同窓会誌「銀友」の転載。住所変更受け付け、同期会等の開催告知・報告掲載など。
- 会の運営  
運営委員会開催 日時：12月18日(土)15時(会場：母校会議室)、3月19日(土)15時半(会場：東洋文庫オリエントカフェ)
- 「はたちの集い」(第17回。2022年) 令和4年3月卒業生入高校74回生V対象)実行委員会結成 3月15日(火)。文書で通知

## 2021年度収支決算報告書

2021年4月1日～2022年3月31日 (単位：円)

科 目	収 入	科 目	支 出	
前年度繰越金	4,750,173	総会(0回)、理事会(0回)開催	0	
新卒者同窓会入会金	3,060,000	資料作成費	3,031,176	
同窓会年会費	2,002,000	懇親会費		
はたちの集い	0	会誌発行費(15,000部)		
会費	0	銀友制作費		1,491,435
学園側負担金		宛名印刷費		162,226
本郷祭同窓会懇親会会費	0	ラッピング費		265,643
懇親会会費	0	発送費		1,077,862
理事会	0	編集諸経費		34,010
総会		行事部門		410,991
寄付(高校32回生)	25,912	はたちの集い		4,602
雑収入	0	本郷祭同窓会出展費	0	
		同期会開催支援費(活性化)	0	
		活躍した生徒への激励費	240,000	
		卒業生記念品費	153,000	
		学園懇親会費	13,389	
		会員名簿保守管理費	179,230	
		ホームページ年間契約料	68,837	
		運営委員会交通費補助	27,000	
		事務費	140,798	
		備品費	0	
		消耗品費	29,533	
		資料作成費	99,030	
		通信費	11,145	
		雑費	1,090	
		支出合計	3,858,032	
		次年度繰越金	5,980,053	
合 計	9,838,085	合 計	9,838,085	

## 預貯金・現金明細

(単位：円)

銀行・他	預貯金残高	定期預金	次期繰越金
三菱UFJ銀行	5,484,839	0	
郵貯銀行	364,613	0	
現金	130,601		
合 計	5,980,053	0	5,980,053

収入の部及び支出の部について、各科目ごとに伝票・領収書等の帳票類を精査したところ、それぞれ適正に誤りに誤りなく仕訳がされ、整理されていた。また、期末での現金残高及び金融機関への預金残高も相違なく確認した。したがって、2021年度の収支決算は公正かつ妥当なものであると認め、ここに報告する。

2022年4月19日 監事 木塚順夫 熊木宏治



# 2021年度表彰報告

各分野における全国規模の大会等で活躍した生徒24人(16件)を表彰

**1.** 第8回ナレッジ・イノベーション・アワード「高校生アイデア部門」で全国決勝大会に出場しグランプリを受賞(山崎航太郎君)

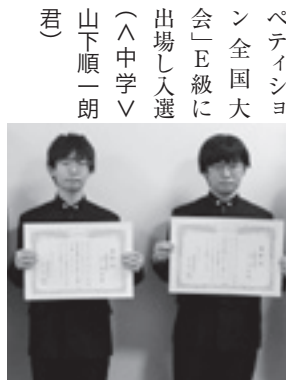


7月6日  
表彰

**4.** 「2021年度ビティナ・ピアノコンペティション全国大会」F級に出場しベスト16賞に(ハ中学V山下宗一郎君)

以上4人(3件) 12月6日表彰

**2.** 「2021年度ビティナ・ピアノコンペティション全国大会」連弾上級に出場し入選(ハ中学V山下順一朗、山下宗一郎君)



ペティシヨ  
ン全国大  
会「E級に  
出場し入選  
(ハ中学V  
山下順一朗  
君)

**5.** 令和3年度全国高等学校体育大会陸上競技大会・秩父宮賜杯第74回全国高等学校陸上競技対校選手権大会の400mHに出場(安藤晴輝君)



輝君)

**6.** 第15回全国高校生歴史フォーラムに応募した研究レポート「柳沢吉保時代における六義園の変遷」が学長賞を受賞(渡邊尊仁君) 以上2人(2件) 12月7日表彰



**7.** 第17回全国物理コンテスト物理チャレンジ2021第2チャレンジ全国大会に出場し奨励賞に(ハ高校V笠井圭太君)

**8.** 第12回坊ちゃん科学賞論文コンテストに応募した研究レポート「クラドニ図形と固有振動について」が入賞(ハ高校V赤澤佳、堀田悠真君)

**9.** 第12回坊ちゃん科学賞論文コンテストに応募した研究レポート「コップから流れる水の形」が佳作に(ハ高校V高橋礼君)



10 令和3年度「大切な命を守る」全国中学・高校生作文コンクールで国務大臣・国家公安委員会委員長賞を受賞  
(八中学▽柿沼英樹君)

11 令和3年度「大切な命を守る」全国中学・高校生作文コンクールで警察庁長官賞を受賞(八中学▽川崎翔大君)

12 令和3年度「大切な命を守る」全国中学・高校生作文コンクールで警察庁防犯罪被害者支援室長賞を受賞(八中学▽福岡大翔、山浦功太郎君)



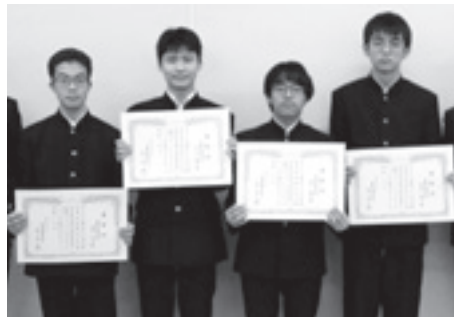
13 International Trade Challenge 2021  
に出場(八高校▽山崎航太郎、世森創識君)

以上10人(7件)12月9日表彰



14 第27回全国ジュニア・ラグビーフットボール大会に「東京都中学校代表」チームのメンバーとして出場(後藤弘汰、森田友翔君)

15 第46回全国高等学校総合文化祭自然科学部門研究発表に出場(佐々木俊裕、黒羽圭太、長谷川雄也、金田悠葵君)



16 第59回全国中学校スキー大会に出場(羽村悠樹君) 以上7人(3件)3月8日表彰

17 第10回全国高等学校サッカー大会に出場(佐々木俊裕、黒羽圭太、長谷川雄也、金田悠葵君)



## 本郷学園同窓会役員

任期：2023年度定期総会まで  
任期満了による新役員を選出する2022年度定期総会が中止となったため  
め会則第十条三項により次期選出日まで任務を行う。○印は理事候補

氏名	卒業年	卒業回期	氏名	卒業年	卒業回期
名誉会長			中田守喜	1969 (昭和44)年	高校21
松平頼昌	(学園理事長)		堀井貞夫	1969 (昭和44)年	高校21
会長・理事			○ 早川盛男	1969 (昭和44)年	高校21
南谷 修	1956 (昭和31)年	高校8	染谷幸雄	1970 (昭和45)年	高校22
副会長・理事			砂沼照男	1971 (昭和46)年	高校23
秋元幹夫	1955 (昭和30)年	高校7	押田松児	1971 (昭和46)年	高校23
小室能広	1956 (昭和31)年	高校8	小堀義光	1971 (昭和46)年	高校23
市倉洋一	1960 (昭和35)年	高校12	田中良一	1972 (昭和47)年	高校24
山際幸雄	1966 (昭和41)年	高校18	中嶋健至	1973 (昭和48)年	高校25
監事			平野隆之	1974 (昭和49)年	高校26
木塚順夫	1956 (昭和31)年	高校8	鈴木利一	1975 (昭和50)年	高校27
熊木宏治	1960 (昭和35)年	高校12	大蔵利文	1976 (昭和51)年	高校28
顧問			岡野智彦	1976 (昭和51)年	高校28
佐久間昭浩	(校長)		神谷秀行	1976 (昭和51)年	高校28
山内英夫	1951 (昭和26)年	高校3	川俣 弘	1976 (昭和51)年	高校28
運営委員・理事			馬島善宏	1976 (昭和51)年	高校28
新澤米次	1956 (昭和31)年	高校8	塚本雅一	1977 (昭和52)年	高校29
井上栄三郎	1958 (昭和33)年	高校10	鶴坂宏文	1977 (昭和52)年	高校29
竹村義教	1960 (昭和35)年	高校12	松本伸行	1980 (昭和55)年	高校32
梶 徳治	1968 (昭和43)年	高校20	清水一郎	1980 (昭和55)年	高校32
赤井健郎	1970 (昭和45)年	高校22	小池武次	1983 (昭和58)年	高校35
野田悠二	1972 (昭和47)年	高校24	岡本明久	1988 (昭和63)年	高校40
千野邦雄	1973 (昭和48)年	高校25	移川真男	1990 (平成2)年	高校42
石井聖一	1973 (昭和48)年	高校25	下村大樹	1993 (平成5)年	高校45
立入健司	1974 (昭和49)年	高校26	佐藤憲一	1993 (平成5)年	高校45
泉 昇一	1977 (昭和52)年	高校29	野村竜太	1994 (平成6)年	高校46
米澤 潤	1980 (昭和55)年	高校32	杉下和行	1996 (平成8)年	高校48
野口貴洋	1983 (昭和58)年	高校35	薄井健吾	1997 (平成9)年	高校49
竹野谷茂	1983 (昭和58)年	高校35	池田貴生	2005 (平成17)年	高校57
佐々木晋一	1985 (昭和60)年	高校37	宮川 元	2005 (平成17)年	高校57
理事			石川広明	2006 (平成18)年	高校58
野木惣市	1945 (昭和20)年	中学19	永瀬智也	2006 (平成18)年	高校58
地曳秀雄	1951 (昭和26)年	高校3	○ 大重 崇	2007 (平成19)年	高校59
津久田愛之助	1954 (昭和29)年	高校6	○ 大野太郎	2007 (平成19)年	高校59
渡辺昭義	1954 (昭和29)年	高校6	關田宗範	2011 (平成23)年	高校63
岡本信也	1958 (昭和33)年	高校10	北野史浩	2013 (平成25)年	高校65
久保國男	1960 (昭和35)年	高校12	田口雄飛	2013 (平成25)年	高校65
高田隆義	1963 (昭和38)年	高校15	増本洋行	2015 (平成27)年	高校67
小倉義雄	1966 (昭和41)年	高校18	立花光陽	2017 (平成29)年	高校69
宮沢正喜	1966 (昭和41)年	高校18	伊藤瑞貴	2017 (平成29)年	高校69
関塚正治	1968 (昭和43)年	高校20	畠中晃平	2017 (平成29)年	高校69
内山正敏	1968 (昭和43)年	高校20			

# 本郷学園同窓会則

## ◆ 第一章 名称及び位置 ◆

### 《名称》

第一条 本会とは本郷学園同窓会という。

### 《位置》

第二条 本会は事務所を東京都豊島区駒込四丁目十一番一号  
学校法人 本郷学園内に置く。

## ◆ 第二章 目的 ◆

### 《目的》

第三条 本会は会員相互の親睦を深め母校の発展をはかることを目的とする。

### 《事業》

第四条 本会は前条の目的を達成するために次の事業を行う。

- (1) 会員の親睦会の開催
- (2) 会誌の発行
- (3) 母校の後援
- (4) 会員名簿の整備管理
- (5) ホームページの管理
- (6) その他前条の目的を達成するために必要な事業

## ◆ 第三章 組織及び役員 ◆

### 《会員》

第五条 本会は次の会員により組織する。

- (1) 旧制本郷中学校及び本郷高等学校卒業生
- (2) 本郷中学校卒業生及び旧制本郷中学校並びに本郷高等学校に在籍したことのある者で理事会の承認を得た者

### 《役員》

第六条 本会には次の役員を置く。

会長 一名 副会長 若干名 理事 各任期若干名、監事 二名

### 《役員選出》

第七条 前条の役員は次の方法により定める。

- (1) 会長は理事会において理事の互選により選出する。
- (2) 副会長は理事の中から会長の委嘱によつて定める。
- (3) 理事は各任期の中から選出し、総会の承認を得るものとする。ただし選出のない任期からの理事は会長が委嘱し、総会の承認を得るものとする。

(4) 監事は総会において会員の中から選出する。  
《名誉会長及び顧問、相談役の設置》

第八条 本会に名誉会長及び顧問、相談役を置くことができる。

- 二 名誉会長は本郷学園理事長にこれを委嘱する。
- 三 顧問は本郷学園名誉校長及び校長並びに本会会長経験者にこれを委嘱する。
- 四 相談役は副会長、理事、監事の経験者の中より会長がこれを委嘱する。

### 《役員の仕事》

第九条 役員は次の任務を行う。

- (1) 会長は会を代表して会務を総括執行する。
- (2) 副会長は会長を補佐し会長事故あるときは、副会長間において定める順位により会長事務を代行する。
- (3) 理事は理事会に出席して本会の運営に参画する。
- (4) 監事は会計を監査する。又、理事会及び運営委員会に出席し意見を述べることができる。
- (5) 理事及び監事は相互に兼ねることはできない。
- (6) 顧問、相談役は会長の要請により会議に出席する。

### 《役員の仕事及び任期》

第十条 役員の仕事は三年とする。ただし再任は妨げない。

- 二 補充により選出された役員の仕事は三年間の当該任期の残任期間とする。
- 三 前第一項、第二項にかかわらず、役員は次期役員の仕事の日までは、なお、その仕事を行う。
- 四 会長は役員が同窓会の役員としてふさわしくない行為を行った場合、又は特別の事情がある場合には、副会長と協議のうえ当該役員を解任することができる。

## ◆ 第四章 会議 ◆

### 《会議》

第十二条 本会が行う会議は総会、理事会、運営委員会とする。

二 会議の議長は会長がこれにあたる。

### 《総会》

第十三条 定期総会は毎年一回、事業年度終了後三か月以内に開催し、次の事項を審議し議決する。

- (1) 事業計画及び収支予算の決定

- (2) 会則の改正
  - (3) 理事の承認並びに監事の選出
  - (4) 事業報告及び収支決算の承認
  - (5) その他本会の運営に関する重要事項
- 二 会長は理事会の議決により臨時に総会を招集することができる。

《理事會》

第十三条 理事會は会長の要請もしくはは理事の過半数の請求により開催する。

- 二 理事會は次の事項を審議し議決する。
  - (1) 会長の選出
  - (2) 第五条第2号に該当する会員の承認
  - (3) 総会の議決した事項の執行
  - (4) 総会に付議すべき事項
  - (5) 運営委員會より付議された事項
  - (6) その他総会の議決を要しない会務の執行に関する事項

《運営委員會》

第十四条 運営委員會は会長及び副会長、本会の事業を担当する理事で構成する。

- 二 運営委員會は会長の招集によって開催し、本会の日常の運営にあたる。

第十五条 第十二条第一項並びに第十三条第二項にかかわらず、緊急を要する事案は運営委員會において処理し、事後、理事會の承認を得るものとする。

◆ 第五章 事業及び議決 ◆

《事業の遂行》

第十六条 会長は、企画及び会誌の発行、会計、庶務等の副会長の担当を定め、かつ、これを補佐する理事を指名する。担当副会長は理事の協力を得て本会の事業を行う。

《事務取扱者》

第十七条 本会の事務を処理するため事務取扱者を置く。担当者は運営委員會委員の中より会長が委嘱する。

《議決》

第十八条 会員は総会において発言権、議決権を有する。

二 総会、理事會の議決は出席者の過半数をもって決する。可否同数の場合は議長が決める。

◆ 第六章 會計 ◆

《事業年度》

第十九条 本会の會計年度は毎年四月一日に始まり翌年三月三十一日に終わる。

《事業計画及び収支予算》

第二十条 本会の事業計画書及び収支予算書は会長が作成し、総会の議決を得なければならない。ただし総会までの間は理事會の議決によることを妨げない。

《事業報告及び収支決算》

第二十一条 本会の事業報告書及び収支決算書は、会長が事業年度終了後遅滞なく作成し、監事の監査を経たうえ、総会の議決を得なければならない。

《會計》

第二十二条 本会の経費及び事業資金は次をもつて充当する。

- (1) 入会金
- (2) 会員の年会費
- (3) 利息収入
- (4) 寄付金品

二 いったん納入した金品は一切返還しない。

第二十三条 会員は年会費を二口式千円として二口以上を毎年納付するものとする。

二 卒業時の入会金は壹万円とする。

◆ 第七章 会則の改正 ◆

第二十四条 本会則は総会において出席会員の三分の二以上の賛成を経て改正することができる。

◆ 付則 ◆

本会則は平成十五年六月二十一日より施行する。

本改正会則は平成二十二年六月十九日より施行する。ただし第二十三条第二項については平成二十三年度より実施する。

以上



## 本郷高校 2022 年度大学入学試験合格結果

大学名	計	現役
国公立大学・大学校		
東京	13	11
京都	2	2
一橋	5	4
東京工業	5	3
北海道	4	2
東北	7	6
大阪	1	1
九州	1	1
山形	1	1
茨城	1	1
筑波	8	5
宇都宮	1	1
群馬	1	1
埼玉	6	4
千葉	6	5
電気通信	5	4
東京医科歯科	1	
東京外国語	1	1
東京学芸	3	1
東京海洋	3	3
東京農工	3	2
横浜国立	1	1
新潟	1	
富山	2	1
金沢	1	
信州	1	1
岐阜	1	1
三重	1	
愛媛	1	
高崎経済	1	1
横浜市立	1	1
九州歯科	1	
防衛大学校	3	2

大学名	計	現役
私立大学		
早稲田	110	88
慶応義塾	93	83
上智	22	16
東京理科	135	109
明治	159	122
青山学院	22	20
立教	31	24
中央	47	33
法政	62	43
学習院	11	8
情報経営イノベーション専門職	1	
国際医療福祉	7	4
東京国際	1	
埼玉工業	1	1
埼玉歯科	2	1
明海	1	1
獨協	9	6
日本工業	3	1
文教	3	3
目白	3	2
ものづくり	1	
千葉工業	25	24
帝京平成	1	
デジタルハリウッド	2	
亜細亜	4	1
桜美林	3	3
北里	13	11
杏林	5	4
工学院	15	12
國學院	2	2
国際基督教	2	1
国士舘	3	2
駒澤	15	14
芝浦工業	59	49
順天堂	6	5
昭和	6	2
成蹊	14	11
成城	6	5
専修	18	15
大東文化	2	2
大正	2	2

大学名	計	現役
私立大学		
拓殖	3	3
高千穂	3	3
玉川	2	2
多摩美術	2	2
帝京	12	10
東海	2	2
東京医科	1	
東京経済	3	2
東京工科	3	3
東京歯科	1	
東京慈恵会医科	1	1
東京電機	15	10
東京農業	11	11
東京薬科	7	7
東邦	6	4
東洋	28	20
二松学舎	1	1
日本	85	64
日本医科	3	1
日本体育	1	1
星薬科	4	4
武蔵	7	6
東京都市	7	3
武蔵野	4	3
明治学院	11	8
明星	2	2
立正	3	3
東京工芸	2	
麻布	2	2
神奈川歯科	1	1
湘南工科	1	1
産業能率	1	1
聖マリアンナ医科	2	
横浜商科	1	1
横浜薬科	1	1
帝京科学	1	1
豊田工業	1	
同志社	4	2
立命館	10	6
関西	1	1
関西学院	2	2

### 退職教諭

英語科 元谷 哲也 先生

(2022年4月5日現在)

本郷学園同窓会  
会費納入者一覧

2022年(令和4年)

3月31日現在

卒業同期 氏名(敬称略)

大塚 康夫	宮本 良一	橋本 公成	中島 敬太郎	大屋 忠	中20市川 恒雄	浅原 義久	野木 惣市	高橋 實	下川 敬朗	中19阿出川 義男	大沢 善和	今里 隆	中18新井 保文	中17佐藤 元徳	中13景山 正隆	太田 恭二	卒業同期 氏名(敬称略)	2022年(令和4年)	3月31日現在	本郷学園同窓会 会費納入者一覧			
大西 美代智	小椋 一	奥村 茂	高6漆間 秀雄	井沢 清	田畑 光利	高5山崎 利恭	八嶋 政臣	高4佐々木 直剛	根本 強	地曳 秀雄	光安 伸夫	坂田 実	北見 尹	山内 英夫	長崎 一	齊藤 邦衛	高3石川 達夫	瀬川 澄男	宮入 貞雄	羽生 銚佑	豊嶋 敬司	高2坂野 重一	中21高原 隆雄
益川 雄治	山内 周	宮崎 靖司	福原 信夫	高橋 三郎	清水 秀男	石井 尚敏	鈴木 健	高7青木 輝男	霜越 佑	小林 金則	松本 幸司	中村 義一	高木 桂三	関 貞三	駒井 隆行	香森 哲也	柏村 喜徳郎	中山 壽夫	市川 錦次郎	渡辺 昭義	根立 光夫	寺田 栄一	篠 喜三郎
岡本 信也	津原 巖	小川 紘	山崎 昇	佐々木 範行	上岡 光男	高10青木 弘三	川崎 孝	島村 泰夫	田中 好明	比企 正憲	高9西江 正晴	小室 能広	渡邊 茂明	深澤 宏之	古屋 勝正	内村 光孝	藤巻 健三	南谷 修	三村 孝一	長澤 秀幸	木塚 順夫	大野 俊広	高8新澤 米次
阿出川 信夫	渡辺 則綱	相川 清	山田 英昭	田中 清弘	齊藤 毅	清川 洋吉	方波見 茂	大島 康臣	高13明石 安邦	久保 國男	熊木 宏治	高好 俊一	亀井 忠雄	山本 博	竹村 義教	川口 修三	伊奈 信行	吉原 孝哉	田島 輝夫	高12市倉 洋一	渡部 長幸	中河 秀行	井上 栄三郎
小倉 義雄	石津 彰三	鈴木 博	根木 輝久	高18倉持 文雄	野田 祐二	山田 隆	四家 文憲	高17佐藤 仁	田村 邦光	佐々木 邦雄	高16小原 治男	高田 隆義	新安雄	杉山 雅一	倉田 勝義	高15笹岡 大	荻原 健一	江田 清	高14池田 雅彦	越路 往輝	野間口 正機	高橋 国夫	

高20 小林 基展  
下川 薫  
吉倉 幸信  
毛利 悦久  
増山 恵一  
中村 博  
稲垣 富雄  
北原 照久  
綿津 和芳  
若山 裕二郎  
沼尻 卓  
田邑 昇  
齊 慎  
木下 茂男  
高19 秋葉 和秀  
宮沢 正喜  
山際 幸雄  
櫻井 利雄  
黒石 清  
齊田 与四郎  
浅井 俊一  
榊原 康夫  
吉尾 正照  
田原 克人

塩原 一男  
櫻井 康二  
大野 英治  
森田 知男  
町田 準一  
蛭田 要司  
千葉 正明  
関塚 正治  
酒井 完治  
大塚 勝実  
横堀 直人  
津田 隆  
瀬崎 正憲  
内山 正敏  
戸張 友晴  
梶 徳治  
矢代 順一  
染谷 幸慈  
坂井 秀雄  
斎藤 盛泰  
飯沼 誠次  
松原 茂  
南原 義樹  
佐々木 正紀

高知尾 享  
柴田 秀利  
赤井 健郎  
高22 関 敏晴  
豊田 康徳  
安藤 一雄  
土屋 次雄  
早川 盛男  
中田 守喜  
黒杉 寿博  
菊地 正美  
小黒 満  
遠藤 文章  
磯部 雄二  
堀井 貞夫  
小松 健介  
工藤 勝  
尾崎 栄一  
森田 議雄  
野田 優明  
鈴木 斉  
鈴木 誠次  
菅沢 悦男  
高21 砂田 俊雄  
古川 和夫

山口 登  
田島 秀行  
佐野 養  
高25 清田 健蔵  
野田 悠二  
田中 良一  
関田 晃  
進藤 久幸  
三浦 哲也  
村上 信夫  
松島 和己  
柴崎 五佐男  
高24 澤村 時夫  
吉沢 清  
新井 康友  
須永 裕  
高23 押田 松兒  
蔵田 昌明  
中野 二郎  
小池 義明  
遠藤 達哉  
上田 睦  
瀬賀 春雄  
白鳥 芳一

石川 義和  
佐藤 吉伸  
戸張 力  
鈴木 勇人  
丸田 伸之  
高橋 伸治  
岩崎 充晃  
高27 稲垣 登  
立入 健司  
溝口 清人  
相模 明男  
庭野 毅  
中田 久人  
柴 安弘  
笹沼 博之  
稲田 俊和  
高26 花島 良晴  
佐久間 道雄  
福田 嘉之  
内藤 照夫  
中田 宗喜  
石井 聖一  
坂井 成一  
千野 邦雄

豊田 敏治  
小林 幹生  
菊池 雄一  
高木 敬一  
菅野 弘一  
石塚 実  
平沢 励  
中野 浩一  
田中 和男  
大橋 弘明  
泉 昇一  
伊東 史郎  
高29 飯泉 彰裕  
松井 伸彦  
田中 実  
星野 武夫  
井口 隆  
神谷 秀行  
須藤 博忠  
須崎 幸彦  
小林 博貴  
黒沢 邦夫  
馬島 善宏  
高28 岡野 智彦

永堀 義秀	清水 一郎	竹内 博輝	安島 敏男	宮嶋 信男	原 哲夫	齊藤 政嗣	高32 石原 剛次	中村 貢司	橋本 尚弘	今泉 明秀	勝田 隆久	吉田 法夫	石坪 英貴	赤羽 弘之	森田 仁	竹井 浩一	梶溪 文有	日下部 誠	高31 富永 浩伸	高30 川崎 雅弘	磯ヶ谷 満夫	真鍋 勝俊	森 英彦
平澤 淳	遠矢 工	高34 石垣 晴久	小口 邦夫	岩田 実	萩原 良文	高橋 秀明	梶原 拓也	遠藤 千秋	戸谷 庸克	青木 和夫	吉田 浩久	西洋一	中野 一美	山崎 勝也	福島 浩	並木 成中	齋藤 卓	宇賀神 茂	磯田 浩之	高33 吉田 秀樹	米沢 潤	石井 伸一	三友 宏樹
齋藤 卓也	美谷島 総	鴨下 秀治	萩谷 功	小林 芳弘	松本 圭一	田邊 賢一	古賀 光裕	下鳥 豊	加藤 吉郎	高36 糸谷 信久	河合 一典	江利川 吉彦	小池 武次	山岡 和彦	野口 貴洋	竹野谷 茂	伊壺 和俊	鈴木 徹	高35 藤本 由紀夫	渡辺 欣也	赤石 信一	宮崎 雄一	林 俊明
篠原 史孝	矢嶋 実	高39 小島 丈廣	石本 厚順	吉川 正博	中尾 政則	梶 晋介	山崎 清士	伊藤 政則	大野 秀樹	木村 明	高38 山田 史朗	久保 一樹	秋山 竹史	佐々木 晋一	根岸 延存	荒井 康雄	前沢 智敏	矢島 俊之	小澤 秀昭	横川 高樹	小野寺 和彦	高37 城 和夫	杉本 淳
高山 慎	藤原 潤一	東尾 隆之	田村 伸也	塩家 吹雪	神谷 周作	高42 花田 憲彦	紙谷 淳一	林 慎也	関口 隆之	田中 英俊	高瀬 知博	長田 祐司	小掛 慎太郎	長谷川 忠生	重川 孝志	吉松 耕司	小林 弘和	日石 博之	岡本 明久	上田 一人	高40 大沢 忠晴	春日 真人	
近藤 正徳	高45 新井 洋匡	守部 直文	津田 達広	高44 川上 慎太郎	南尾 晋司	藤田 清志	和田 洋一郎	畑 聡志	野口 拓栄	今井 孝幸	添田 浩史	入谷 順	中村 步希	上原 弘行	大櫃 貴之	田川 聖	戸塚 太一	高43 今井 仁	藤田 恵輔	本井 利生	高橋 毅	石本 健太郎	

高46 原聰

荒井 昌之

河南 晋

高47 山崎 陽一

大森 慎太郎

柳沢 明思

秀野 泰隆

香取 範充

高48 金子 健

稻生 雄一郎

板橋 寿和

斉藤 誠

杉下 和行

中村 織雄

羽成 未大

高49 堀 洋平

安井 督

町田 健

林 誠吾

高50 網島 宗介

井上 洋輔

新村 光央

宇田川 太

御園生 悟

豊川 浩成

高51 滝澤 一晴

山本 健太郎

保森 快典

古島 剛

新井 亮輔

中澤 利幸

佐藤 英明

若西 良介

梶野 貴経

高52 鈴木 慎吾

坂本 泰宏

向井 崇平

加藤 隆之

猪越 正直

藤本 耕平

千田 昌宏

高53 吉田 朋大

小藤 寛之

中村 旭

日谷 堯

後藤 泰治

齊藤 秀雄

根岸 達哉

中井 秀昌

高54 高田 誠

吉澤 順一郎

高橋 祐磨

浅野 立也

安達 昌弘

堀越 周

正木 健彦

土橋 篤仁

柳 宗明

大澤 思朗

小泉 孝人

戸澤 信太郎

中村 健一

和田 敏治

高55 内丸 剛郎

小泉 信吾

大河内 伸剛

佐藤 裕明

大塚 真弘

新村 佳央

本多 慶朗

塚田 匡

高56 高井 俊宏

川田 大助

菅原 一輝

卯坂 潤一郎

後藤 隆徳

山本 崇史

船渡川 哲

高57 宮本 英明

宮本 知明

谷口 遼

石村 賢

池田 貴生

新見 陽介

高58 佐藤 樹

宮川 元

秋本 悠樹

田中 義輝

椎名 武雄

池田 一樹

高59 米山 俊輔

廣瀨 貴充

鷺澤 仁志

大野 太郎

松本 康佑

高60 福田 修也

林 輪太郎

吉田 玲生

藤井 翔太郎

高61 大竹 正紘

山本 陸

小穴 泰裕

森下 弘基

志村 暢紀

田中 慎也

川野 雄平

大野 誠

渡邊 貴之

町田 修

高62 南方 宙大

杉浦 貴則

金 晟徹

兵頭 義章

小林 祐樹

福嶋 大樹

伊藤 健太

平田 雅俊

高63 木塚 康太

山田 凌輔

三好 亮麻

佐藤 慎也

高64 松本 一起

津内 直人

石橋 拓也

吉田 真也

申 俊利

西山 朔

河野 遼

内藤 亮

辺見 幸大

宮原 正知

櫻井 幹生

高65 新井 達也

横澤 智大

小沢 陽

江口 大樹

野崎 友多

関本 圭吾



藤森 良太  
辰野 良亮  
井上 智皓  
小林 弘樹  
田口 雄飛  
山崎 裕之  
須藤 大介  
高66 正村 公宏  
近藤 直人  
ドル 有生  
古谷 龍一  
平井 大介  
高67 遠藤 雅之  
鈴木 丈也  
藤田 大輝  
山岸 清剛  
大嶋 優介  
飯島 穰  
富樫 和貴  
青木 瑞樹  
高68 中野 幸英  
加藤 隼人  
緑川 響介  
斉藤 亮

大曲 瑞希  
永野 健斗  
吉田 哲也  
萩原 和貴  
佐々木 魁  
鈴木 貴裕  
高橋 修明  
北村 俊徳  
山浦 悠一郎  
丸山 雅貴  
安藤 実大  
桂 彰寿  
木村 洋一  
森 可智  
飯田 翔悟  
高69 立花 光陽  
永山 将太郎  
森 郁登  
原 英生  
佐藤 海輝  
保島 紀信  
赤羽 祐紀  
高70 木下 祐志  
神野 広希

宮本 英俊  
野澤 勇祐  
清水 啓太  
北川 裕貴  
木村 和貴  
古田 耀一  
脇本 智郎  
藤田 晃徳  
金光 理玖  
柏木 秀仁  
杉浦 育実  
林 凜太郎  
小林 拓生  
林 怜央  
釜田 森至  
岩 渕 友哉  
高71 中嶋 大  
橋本 千聖  
船本 和希  
村井 勇大  
緑川 詠介  
高橋 優輔  
安田 壮佑  
奈良 禄太郎

岡崎 淳哉  
廣瀬 由明  
南谷 優太  
高72 永井 大河  
直井 悠人  
松岡 弘大  
六郷 雄太  
萩野 谷 悠太  
今村 幹彦  
吉住 篤哉  
長峰 奨真  
林 昇輝  
小野 翔平  
安田 晃大  
細 谷 源 二 朗  
仙波 葵  
古田 裕一  
家田 智也  
山北 啓吾  
渡辺 隼人  
嶋津 瑛人  
内山 敬太  
眞鍋 諒生  
向野 樹

坪内 駿  
川瀬 知基  
小出 隼司  
高73 江本 真弘  
広瀬 俊哉  
鮫田 航  
頼 慧 一 郎  
船山 剛亮  
吉村 隆志  
佐々木 柊  
杉下 銀次郎  
福田 航平  
關田 久蔵  
森友 勇人  
工藤 達至  
森 雄 琉  
回 期 等 不 明 者  
ヨシカワマコト  
スズキ ヤスヨシ  
シミズ モトオ  
マスマト ユウスケ  
キヤマ ミツヒロ  
ナカムラ ヒサシ  
スズキ ケンタ  
サクライ キヨタカ  
納入者数 682人

白石 大翔  
土井 晴生  
黒川 直  
高橋 将成  
平山 直人  
青柳 太成  
内山 康太郎  
橋本 凌  
西村 嘉賛  
高野 真  
山本 智士  
渡邊 紘介  
齋藤 駿馬  
近藤 健太  
山下 壘

謹んでご冥福をお祈り致します  
同窓会にご連絡のあった方を掲載しております

中2 栗山 巍	小田川 敏孝
中6 今福 敏秀	矢作 博明
中11 高橋 耕一	古川 進
中13 羽賀 豊太郎	高13 野間口 正機
中15 中村 美登	高17 白月 宏美
中17 阿出川 昭治	高18 鈴木 博
中18 檜垣 順次	高20 中村 壽男
菅野 武司	平石 幸夫
中19 大野 勝弘	永見 茂樹
滝田 智久	高21 中村 忍
中21 大関 好且	田中 昭二
鎌田 忠男	大山 茂
中22 高田 政雄	中島 一雄
高6 稲垣 泰輔	高22 早坂 雄三
後藤 順夫	高24 寺田 正美
高7 下田 洋	高25 香崎 勝好
高8 稲葉 研治	高27 大木 義昭
高9 田中 好明	高28 渡辺 章文
高10 高塚 靖	高32 飯沼 輝夫
山岸 信夫	高35 川名 勝彦
高12 江原 正弘	

1980年 昭和55年卒業生

(高校32回生)「本郷高校55会」  
「還暦の集い中止」のお知らせ

昭和55年卒業生の皆様へ

55歳時に第1回同窓会(2017.2.25)を開催し、昨年同時期に計画1年延長をして令和4年2月26日は新型コロナウイルス(オミクロン株)感染拡大の観点から会運営委員の同意を得て「中止」することになりましたのでお知らせいたします。当時の残金は同窓会に寄付することになりましたのであわせてご報告させていただきます。「大事な日」と思いましたがこれも感染不安の中苦法の判断でした。皆様の健康と学園及び同窓会の更なる活躍御発展を祈念いたします。

令和4年1月29日

実行委員長 米澤 潤

※万全を期したつもりですが、万が一、お名前の漏れや誤字、脱字など間違いがありましたらご容赦ください。FAXでご一報いただければ幸いです。

FAX 03-3917-0007

編 集 後 記

「個性を尊重した教育を通して国家有為の人材を育成する」・・・そして100年。本郷学園は今年の10月27日に創立100周年を迎えます。「強健」、「厳正」、「勤勉」を目標に「文武両道」、「自学自習」、「生活習慣の確立」にいそしむ生徒たちが、連綿と紡いできた「HONGO」とは・・・。そして、その校風とは、伝統とは・・・。つまり、良かったところ、良いところは・・・。

その答を探るねらいもあつて近年、卒業生の皆さんに、できれば本郷生活を振り返りながら、今を綴ってもらおう企画を「投稿」という形で組んできました。今号でも、六人の卒業生が原稿を寄せてくださいました。大変にありがたく思っております。六人六様の彼らの本郷での生活が、その後の人生にどう影響していったか、すこしでも味わっていたければ幸いです。

(Y)

本郷学園校歌

*Allegretto marciale*

むかしは植樹の名どころ染井  
 とりわけ紅葉の錦に知らる  
 今は学園ここに開けて  
 国の柱の苗木を育つ  
 ああわれら誇りの本郷学園  
 ああ柱苗木の青年われら  
 つとめば未来に何えせざらむ  
 さらば固めよ処世のもとい  
 こころは剛毅に身は強健に  
 ああわれら誇りの本郷学園

作詩 坪内逍遙  
 作曲 信時潔

南

